

# 第22回 腹部放射線研究会

The Japanese Society of Abdominal Radiology (JSAR)

## プログラム

会 期 : 2008年6月6日(金)～7日(土)

会 場 : つくば国際会議場

〒305-0032 茨城県つくば市竹園 2-20-3

TEL : 029-861-0001

<http://www.epochal.or.jp>

当番世話人 : 南 学

筑波大学 人間総合科学 先端応用医学専攻 応用放射線医学

〒305-8575 つくば市天王台 1-1-1

TEL/FAX : 029-853-3205

E-mail : [labitai@md.tsukuba.ac.jp](mailto:labitai@md.tsukuba.ac.jp)

研究会 HP : [http : //www.jsar.jp/](http://www.jsar.jp/)

(第 22 回ホームページ上の「宿泊・旅行案内」もご活用下さい)

# 腹部放射線研究会

|        | 会期 / 開催地              | 当番世話人             | テーマ／演題数         | 講演・企画等                                                                                                                                |
|--------|-----------------------|-------------------|-----------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 第 1 回  | ' 90 10. 3<br>秋田県     | 打田日出夫<br>(奈良医大)   | 肝・胆・膵<br>24 題   | -                                                                                                                                     |
| 第 2 回  | ' 91 2.23<br>大阪府      | 永井 純<br>(自治医大)    | 泌尿器・生殖器<br>55 題 | 慈恵医大 第二病理 藍澤茂雄先生<br>「腎の腫瘍性病変」                                                                                                         |
| 第 3 回  | ' 91 11.13<br>兵庫県     | 黒田 知純<br>(大阪成 C.) | 肝・胆・膵<br>46 題   | 大阪市大 第二病理 桜井幹己先生<br>「肝細胞癌の類似病変」                                                                                                       |
| 第 4 回  | ' 92 2.29<br>東京都      | 平松 慶博<br>(東邦大)    | 泌尿器・生殖器<br>39 題 | 京都大 病理学 山邊博彦先生<br>「睾丸及び卵巣腫瘍の外科病理学」                                                                                                    |
| 第 5 回  | ' 92 11. 6<br>東京都     | 平松 京一<br>(慶応大)    | 肝・胆・膵<br>42 題   | 栃木がん C. 外科 尾形佳郎先生<br>「膵癌における術前画像診断の意義」                                                                                                |
| 第 6 回  | ' 93 2.27<br>東京都      | 宗近 宏次<br>(昭和大学)   | 泌尿器・生殖器<br>48 題 | 東海大 病理学 2 長村義之先生<br>「副腎及び後腹膜疾患の病理」<br>* フィルムリーディングセッション                                                                               |
| 第 7 回  | ' 93 11.17<br>山口県     | 板井 悠二<br>(筑波大)    | 肝・胆・膵<br>62 題   | 癌研究所 病理 加藤洋先生<br>「膵腫瘍の病理」                                                                                                             |
| 第 8 回  | ' 94 3.12<br>東京都      | 石川 徹<br>(聖マ医大)    | 泌尿器・生殖器<br>58 題 | 昭和大学 放射線科 宗近宏次先生<br>「前立腺癌の画像診断と病理」<br>コメンテーター：慈恵医大 第二病理 藍澤茂雄先生                                                                        |
| 第 9 回  | ' 95 5.12-13<br>石川県   | 松井 修<br>(金沢大)     | 総合テーマ<br>77 題   | 金沢大学 病理学 2 中沼安二先生<br>「肝血行異常の病理」<br>* フィルムリーディングセッション                                                                                  |
| 第 10 回 | ' 96 5.17-18<br>東京都   | 隈崎 達夫<br>(日本医大)   | 総合テーマ<br>65 題   | K. Ivancev, MD, PhD, Malmoe Gneral Hsp.<br>"Hepatic Tumor Blood Supply"<br>パネルディスカッション「膵癌ーその診断・治療戦略」                                  |
| 第 11 回 | ' 97 5. 9 -10<br>大分県  | 森 宣<br>(大分医大)     | 総合テーマ<br>83 題   | 大分医大 検査部 横山繁生先生<br>「子宮病変の病理」<br>コメンテーター：島根医大 杉村和朗先生<br>* フィルムインタープリテーションセッション                                                         |
| 第 12 回 | ' 98 6.12-13<br>大阪府   | 中村 仁信<br>(大阪大)    | 総合テーマ<br>80 題   | B. I. Choi, MD, Seoul National University<br>"Liver Tumor : Recent Progress of US"<br>パネルディスカッション「嚢胞性膵腫瘍の画像診断」<br>* フィルムカンファレンス (肝疾患) |
| 第 13 回 | ' 99 6.18-19<br>島根県   | 杉村 和朗<br>(島根医大)   | 総合テーマ<br>104 題  | 特別企画「前立腺癌の診断と治療」<br>* フィルムリーディング "タイムショック"                                                                                            |
| 第 14 回 | ' 00 5.11-13<br>山梨県   | 荒木 力<br>(山梨医大)    | 総合テーマ<br>121 題  | 順天堂大学 第一病理学 須田耕一先生<br>「膵臓疾患の病理」<br>* フィルムリーディングセッション                                                                                  |
| 第 15 回 | ' 01 6.1-2<br>兵庫県     | 中尾 宣夫<br>(兵庫医大)   | 総合テーマ<br>130 題  | 久留米大学 病理学教室 神代正道先生<br>「早期肝細胞癌を巡る問題点」<br>* パネルセッション                                                                                    |
| 第 16 回 | ' 02 5.31 -6.1<br>大阪府 | 富樫かおり<br>(京都市大)   | 総合テーマ<br>131 題  | 久留米大学 病理学教室 神代正道先生<br>「早期肝細胞癌を巡る問題点」<br>* フィルムリーディングセッション                                                                             |
| 第 17 回 | ' 03 5.30-31<br>東京都   | 大友 邦<br>(東京大)     | 総合テーマ<br>139 題  | 東京大学女性外科 中川俊介先生<br>「婦人科悪性腫瘍の治療における新しい指標」<br>東京大学 肝胆膵外科 國土典宏先生<br>「肝臓外科における術中超音波の進歩」<br>* パネルクイズセッション                                  |
| 第 18 回 | ' 04 5.28-29<br>長野県   | 角谷 眞澄<br>(信州大)    | 総合テーマ<br>164 題  | 信州大学産婦人科学 小西郁生先生<br>「子宮肉腫の術前診断」<br>奈良県立医科大学病理診断学 野々村昭孝先生<br>「奇異なる肝腫瘍 "血管筋脂肪腫" の臨床病理」<br>* パネルクイズセッション                                 |
| 第 19 回 | ' 05 6.3-4<br>熊本県     | 山下 康行<br>(熊本大)    | 総合テーマ<br>170 題  | Special Lectur Kyoung Sik Cho, M.D. & Byung Ihn Choi, M.D.<br>熊本大学 婦人科学分野 片淵秀隆先生<br>「エニグマティックな婦人科疾患：子宮内膜症」<br>* パネルクイズセッション           |
| 第 20 回 | ' 06 5.26-27<br>東京都   | 今井 裕<br>(東海大)     | 総合テーマ<br>135 題  | 慶應義塾大学医学部 病理学教室 坂元亨宇先生<br>「マクロを中心とした肝臓の進展様式」<br>昭和大学医学部 第一病理学教室 諸星利男先生<br>「膵嚢性病変の組織像」<br>* パネルクイズセッション                                |
| 第 21 回 | ' 07 6.1-2<br>宮崎県     | 田村 正三<br>(宮崎大)    | 総合テーマ<br>145 題  | 宮崎県立宮崎病院 病理科 林 透先生<br>「子宮体部の病理ー腫瘍を中心にー」<br>東京大学大学院医学系研究科 人体病理学・病理診断学分野 福嶋敬宜先生<br>* パネルクイズセッション                                        |

## 第 22 回 腹部放射線研究会

当番世話人 南 学

筑波大学 人間総合科学研究科  
先端応用医学 応用放射線医学

今日まで我が国の腹部放射線診断学の発展に非常に重要な役割を担ってこられた腹部放射線研究会の第 22 回大会を、6 月 6 日(金)・7 日(土)の 2 日間にわたり、つくば国際会議場で開催させていただきます。会をお世話させていただくにあたり、身に余る光栄とその責任の重さに身の引き締まる思いです。

本研究会はその開催時より、日常診療に真剣に取り組んでおられる先生方の貴重な報告の集積と歴代会長や多くの世話人、幹事の先生方のご尽力により、病理と画像の対比を中心とした臨床に直結した研究会として発展してきました。今回もその伝統を守り、病理組織所見との比較が可能な症例の報告を中心に、口演発表の多くのセッションではコメンテーターとして 4 名の病理の先生をお迎えし病理組織像の解説や質疑応答をお願いしております。肝臓領域では、筑波大学の森下由紀雄先生、膵臓領域では東京大学の福嶋敬宜先生、子宮・卵巣領域では慈恵医科大学の濱田智美先生、後腹膜領域では国立精神・神経センターの石田剛先生に参加していただきますので、活発な討論が行われることを期待しております。同時に今回新たな方向として、病理の有無に関わらず、興味深い或いは稀な画像所見を呈した症例、画像診断が IVR 等の治療方針の決定に重要であった症例、IVR の前後で興味深い病態の変化などが画像上得られた症例等も追加募集しました。これは画像診断が診断のみにとどまらず、治療方針の決定や背後にある病態の理解に有用であることを改めて強調したいがためです。

また、IVR とのより強い連携を深めるという松井・森岡幹事のお考えもあり、基調講演 1 では、大阪市立大学の中村健治先生に「腹部 IVR で押さえておくべき画像診断－ヒアリハットを含めて－」のタイトルで、画像診断医に熱いメッセージを送っていただける様お願いしております。基調講演 2 では、これまで放射線領域ではあまり注目されなかった胎盤について、京都医療センターの南口早智子先生に「胎盤病理：マクロの基本」の講演をお願いしております。胎児 MRI などの検査において明日から画像を見る眼が変わるような内容をお聞かせいただけるものと思います。さらにランチョンセミナー、サテライトセミナーでは、GE 横河メディカル社、バイエル薬品株式会社、フィリップスメディカルシステムズ社の共催により、最新の情報を提供していただきます。

今回も展示発表には沢山のすばらしい演題を頂戴しました。6 月 6 日(金)の夕方にポスターディスカッションのセッションを設け、演者の先生方にはその時間帯に各展示の前に立っていただき、画像をはさんで質疑応答ができるようにしました。また、クイズ形式の展示は 8 演題で、すべて筑波大学およびその関連施設から集めました。1 日目の 19 時に最終診断・解説を公開しますので、皆様ぜひふるってチャレンジしていただくようお願いいたします。

つくば市はつくばエクスプレスの開通でアクセスが非常に便利になりました。しかし残念ながら宿泊施設の数はいずれも充分ではありませんのでお早めの計画をお願いいたします。6 月 6 日の夕方には、恒例のサッカー大会も予定しておりますので、勉強に加えスポーツやお食事・診断談義など、つくばでの時間をごゆっくりお楽しみください。

最後に研究会を開催するにあたって多数の貴重な症例を応募して頂いた先生方、御多忙中快く講演・病理コメンテーター・座長を引き受けて頂いた先生方、さらにランチョンセミナー、サテライトセミナー、企業展示に多大なご協力を頂いた各メーカーの方々に、そして研究会の開催を陰で支えてくれた教室員に心より感謝いたします。

## 1. 総合受付

- 1) 受付は、つくば国際会議場 2F エントランスにて、6月6日(金)、7日(土) 8:00より開始致します。
- 2) 参加費は 5,000 円です。参加費と引き換えに名札(兼出席証明書)をお受取下さい。

## 2. 一般演題

### 【一般口演】

#### 1) 座 長

- ・ご担当頂くセッションの終了時間を厳守して下さい。一般口演の発表時間はすべて 5 分、討論時間は各口演につき 3 分(ディスカッション 2 分、病理などのコメント 1 分)とします。

#### 2) 発表者

##### 発表時間

- ・一般口演の発表時間は発表 5 分・討論時間 3 分です。時間厳守をお願い致します。

##### 発表形式

- ・液晶プロジェクターによる発表ですので、ご自身の PC もしくはデータをご持参下さい。スライドは使えません。
- ・演台上に用意されたマウス、スイッチボックスを演者ご自身で操作して頂くリモートプレゼンテーションです。

##### 受付

- ・PC の受付は、2F エントランスにございます。発表の 30 分前に試写をお済ませ下さい。  
(混雑が予想されますので、十分時間の余裕を持って、随時 PC 受付を行って頂きます様ご協力下さい。)
- ・PC 受付での発表データの修正作業は、準備進行の妨げになりますのでご遠慮下さい。

##### 発表に関する注意事項

- ・ご発表は、リモートプレゼンテーションを使用して下さい。演台に液晶モニターとマウス、スイッチボックスが設置されておりますので、これら进行操作して下さい。
- ・PC は演台に置きませんので、発表者ツール等のご利用頂けません。予めご了承下さい。

### < PC 本体を持参される方 >

- ・受付スタッフの指示に従って試写用モニターで確認をして下さい。
- ・モニター出力端子が、Dsub-15 ピン・3 段以外はプロジェクターとの接続が出来ません。この形式以外の端子は接続用のアダプタが必要ですので必ずご持参下さい。また、バッテリー切れを防ぐため電源アダプタをご用意下さい。
- ・画面の解像度は XGA (1024 × 768) をお願いします。
- ・バックアップメディアも持参されることをお勧めします。

### < データのみ持参される方 >

- ・メディアは CD-R または USB フラッシュメモリのみ受け付けます。
- ・受付スタッフの指示に従ってデータをコピーして、試写をして下さい。
- ・研究会で用意しますパソコンの OS は WindowsXP および MacOS X です。アプリケーションは Windows 版の PowerPoint2003 または PowerPoint2000、Macintosh 版の PowerPoint2001 または PowerPoint2004、PowerPointX、keynote1、2004、keynote2 です (Mac 版について互換性の関係で必ず OS X で作成して下さい)。フォントは OS 標準のもののみ対応致します。画面の解像度は XGA (1024 × 768) です。
- ・動画等がある場合には、予め受付スタッフにお伝え下さい。なお、動画データ等の参照ファイルは全て同じフォルダに入れて下さい (PPT への貼付けリンクの確認をお願い致します)。

##### 病理標本

- ・口演については病理学の先生にコメンテーターをお願いしております。病理コメンテーターの先生方よりご要望のあった演題については事前にプレパラートを送付頂く事になります。5月15日までにプレパラートを郵送頂きますようお願い致します。なお、お預かりしましたプレパラートは、口演が終わりましたら病理受付にて返却致しますのでお忘れのないようご注意ください。

## 【ポスター展示】

ポスター展示については、一般展示、問題提示(クイズ)形式の両方で行います。展示の先生方は各自どちらの方法かをプログラムで確認のもと、作成をお願い致します。今回、クイズ展示発表者は筑波大学関係の先生のみです。

### 1) 一般展示発表者

ポスター作成(8 ページのポスター作成見本を参考に作成下さい)

- ・ポスターを掲示するパネルの大きさはパネル上：横 115cm × 縦 90cm、パネル下：横 115cm × 縦 90cm で作成下さい。

### 2) クイズ展示発表者

ポスター作成(9 ページのポスター作成見本を参考に作成下さい)

- ・ポスターを掲示するパネルの大きさはパネル上(出題)：横 115cm × 縦 90cm、パネル下(解答解説)：横 115cm × 縦 90cm で作成下さい。
- ・出題部分には患者の年齢、性、簡単な主訴や経過、症例の画像のみを集めて作成して下さい。図の説明は検査法のみとし、所見の解説はつけないようお願い致します。矢印や矢頭はつけて頂いても構いません。
- ・解答解説部分には演題名に続いて、画像の説明、最終診断、症例の解説をお願い致します。出題部分と重複してお示し頂いても構いません。
- ・受付の際に 90cm × 116cm の紙をお渡し致しますので、解答解説部分を隠すように貼って下さい。第 1 日目の 19:00 に係りのものが紙を外して解答解説を公開致します。

#### ポスター提示について

- ・ポスター展示会場は 2 階エントランスです。第 1 日目午前 11:00 までにポスター会場にて展示受付をお済ませ下さい。  
ポスターを掲示するパネルに演題番号がついていますので、会場に用意されたマジックテープをお使いになって掲示して下さい。
- ・展示に関して座長の設定や口演発表は行いませんが、第 1 日目の 17:30 から 18:15 まではポスターディスカッションのため、ご自分のポスターの前で待機しておいて下さい。
- ・全プログラム終了後、直ちにポスターの撤去をお願い致します。終了後 30 分経過しても残っているポスターは処分致しますので、ご了承下さい。

### 3) 参加者

- ・ポスター展示の閲覧時間は第 1 日目 11:00 ~ 20:00、2 日目 8:00 ~ 16:00 です。第 1 日目の 19:00 までクイズ展示ポスターの解答・解説は隠されています。
- ・会場には解答用紙を用意しておきますので、解答・解説が発表される前に皆様奮って解答をご記入下さい。  
なお、解答・解説は第 1 日目の 19:00 に公開されますので、それまでに会場に用意された箱に記名のうえご投函下さい。
- ・上位の方には当番世話人が心ばかりの賞品をご用意致します。

## 3. 世話人会

日 時：6月6日(金) 13:50 ~ 14:50

場 所：3F 303

## 4. 展示クイズ企画

日 時：6月6日(金) 11:00 ~ 19:00

場 所：2F エントランス

(解答の発表は 1 日目、6月6日(金) 19:00 より)

## 5. 打田賞受賞講演・表彰

日 時：6月7日(土) 13:30 ~ 14:00

## 6. 基調講演

### 基調講演 1 画像診断と IVR

日 時：6月6日(金) 13:20～13:50

座 長：森 健作 筑波大学 臨床医学系・放射線医学

演 者：中村 健治 先生 大阪市立大学大学院 放射線医学教室

『腹部 IVR でおさえしておくべき画像診断－ヒアリハットを含めて－』

### 基調講演 2 画像診断の基礎となる病理

日 時：6月7日(土) 10:50～11:20

座 長：田中 優美子 筑波大学 臨床医学系・放射線医学

演 者：南口 早智子 先生 京都医療センター 研究検査科

『胎盤病理・マクロの基本』

## 7. 共催セミナー

### ランチョンセミナー 1 バイエル薬品(株)

日 時：6月6日(金) 12:30～13:20

座 長：伊東 克能 先生 川崎医科大学 放射線医学教室

演 者：兼松 雅之 先生 岐阜大学医学部附属病院 放射線部

『肝 MRI の新展開』

### サテライトセミナー GE 横河メディカルシステム(株)

日 時：6月6日(金) 16:30～17:20

座 長：角谷 眞澄 先生 信州大学 医学部 画像診断医学講座

演 者：谷本 伸弘 先生 慶應義塾大学 医学部 放射線診断科

『体幹部における Volume MR の有用性』

### ランチョンセミナー 2 (株)フィリップスエレクトロニクスジャパンメディカルシステムズ

日 時：6月7日(土) 12:40～13:30

座 長：斎田 幸久 先生 聖路加国際病院 放射線部長

演 者：伊藤 博敏 先生 京都府立医科大学大学院 医学研究科

講演 1 『腹部画像診断ストラテジーの変革－モダリティから IT インフラストラクチャーへ－』

演 者：片平 和博 先生 熊本中央病院 放射線科

講演 2 『消化器領域 MRI 診断の進歩』

## 8. 企業展示

株式会社 AZE, ピー・エス・ピー株式会社

## I. 主 旨

第 22 回腹部放射線研究会で発表された演題内容をホームページ及び一冊の本に収録することにより、本研究会の記録とすると同時に腹部放射線医学の診療・研究に携わる医師に役立つ参考書となることを主旨としております。

## II. 原稿入力締め切り

2008 年 9 月 30 日 (火曜日)

## III. 入稿方法

原稿は研究会ホームページで入力してください\*。

※インターネット版及び冊子版アトラスへ掲載する際には、どちらか一方への掲載であっても、研究会ホームページからの入力してください。なお、入力方法の詳細は、別紙添付ファイルを参考にしてください。

## IV. 原稿執筆の項目及び基準

- ・タイトル (和文)      ・タイトル (英文)
- ・著者名 (和文)      ・著者名 (英文)
- ・施設 / 所属名 (和文) ・施設 / 所属名 (英文)
- ・症例: 患者背景 (年齢, 性別)
- ・主訴及び臨床経過      ・画像所見
- ・診断及び経過      ・考察
- ・研究会でのコメントの要旨 (なければ結構です)
- ・参考文献

### 1. 文字原稿

- 1) 全体として 1,300 文字程度 (演題名, 演者名, 所属を除く) で、口語体で明瞭に横書きで記述ください。
- 2) 本文中に図説をされる場合には、矢印, 矢頭は“arrow”, “arrowhead”としてください。
- 3) 共著者は筆頭者を含めて 10 名までとします。
- 4) 演題名, 著者名及び所属・科については日本語と英語を併記してください。
- 5) 写真・図表のタイトル, 説明文 (必ず記述ください) は 英語のみで記述ください。
- 6) Key words は抄録に登録されたものを使用します。

### 2. 写真・図表

- 1) 写真・図表は 6 点以内 とさせていただきます。
- 2) 写真は、トリミングや矢印などの指示が終了したものを貼り付けてください。
- 3) 画像形式は JPG のみアップ可能です。図は印刷の関係上、800 × 800 ピクセル程度のものをアップしてください。あまり小さな画像は印刷画質に問題が出ます。なお、大きな画像はアップ時にリサイズされます。

### 3. 原稿入力時の留意点

- ・入力時に行先頭にスペースを空けないでください。
- ・以下の文字は、機種に依存し表示できないことがあるため入力を控えてください。(※: 1 文字での表示記号)  
◇丸付き数字: ① ② ③    ◇ローマ数字: I II III  
◇単位記号※: kg cm kV    ◇特殊記号: ™ ④ ⑤

## V. 掲載順位

一般演題 (口演・展示・クイズ展示) の掲載はプログラム順 (研究会当日の発表順) とさせていただきます。

## VI. 参考文献

参考文献は本文中に引用した順に番号を付してください。著者名は筆頭から 3 名までとし、それを越える場合は「ほか」, 「et al.」と表記してください。タイトルは必ず入れてください。書籍からの引用の場合は出版社名, 出版地も明記してください。(記載例)

- 1) Wilms G, Casaer P, Alliet P, et al: Cerebrovascular occlusive complications in osteopetrosis major. *Neuroradiology* 32: 511 - 513, 1990.
- 2) 関口隆三, 中屋良宏, 森山紀之, ほか: 肝臓・脾臓疾患への Helical CT の応用 - 造影検査の特徴について - . *日獨医報* 38:90 - 97, 1993.
- 3) 秋葉 隆: 長期透析の問題点. 透析療法合同専門委員会編著: 血液浄化療法ハンドブック 362 - 375, 1993, 協同医学出版社, 東京.

## VII. 著者校正

文字校正原稿作成後に著者校正をお願いいたします。原則としてその時 1 回とさせていただきます。また 文字校正原稿を受け取ってから 10 日以内に印刷会社必着でご返送ください。なお、アトラス原稿は事務局にて簡単な文字校正を実施します。ご了承ください。

## VIII. 本 誌

原則として筆頭著者に 1 部進呈いたします。

## IX. 知的財産権

掲載原稿に関して全ての知的財産権 (著作権など法律上の権利) は当該執筆者に帰属するものとします。また、インターネット掲載及び冊子発行に伴う知的財産権 (著作権) は腹部放射線研究会に帰属するものとします。

## X. 他の著作物からの転載

写真・図表の転載許諾の手続きに関しては執筆者自身の責任において行ってください。執筆者は、転載や引用をするとき、著作権などに関する法律と社会的良識を守るものとし、本誌に掲載された著作物の内容については当該執筆者自身がその責任を負うものとします。

## XI. 連絡先及びお問合せ先

腹部放射線研究会 ホームページ管理責任者 河上 聡  
E-mail: jsar\_webmaster@jsar.jp  
(お問合せにつきましては、必ずメールにてお願いいたします。)

## XII. 発刊予定

2009 年 5 月

# 一般ポスターの見本（A4用紙に印刷してポスターを組んだ場合）

## 一般ポスターの見本（A4用紙に印刷してポスターを組んだ場合）

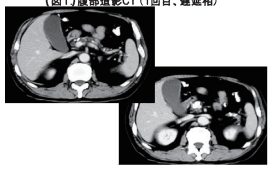
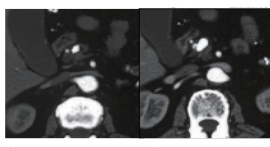
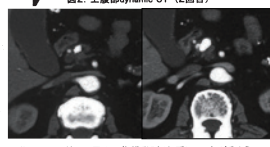
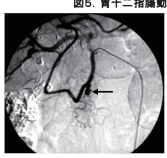
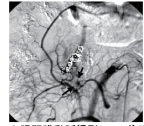
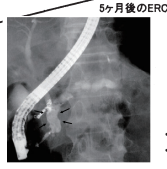
A4用紙を使った場合、上下の欄には最大3列×4行、計24枚のA4用紙が横置きで貼り付けられます。

|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |  |        |  |                    |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--|--------|--|--------------------|
| 事務局で準備します                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |  | 使用しません |  | 135mm<br>↓<br>60mm |
| <div> <div> <h3>塞栓術で治療した Hemosuccus Pancreaticus の1症例</h3> <p>亀山 征史・桐生 茂・南 孝・赤羽 正章<br/>吉岡 直紀・古賀 久雄・渡辺 慎・大友 邦<br/>東京大学医学部附属病院放射線科</p> </div> <div> <h3>症例</h3> <ul style="list-style-type: none"> <li>・68歳男性</li> <li>・主訴：下血、心窩部痛、嘔吐、冷汗</li> <li>・日本酒2合×52年</li> <li>・5月検診にて貧血指摘(Hb 9台)近医受診、7月頃下血が一度あり、9月に気分不快、悪心、嘔吐、下血があり、他院緊急入院。Hb5台、輸血。CT、US行っても出血源不明。11月に血便、ふらつきがあったため、当院受診。Hb 6.6と低下のため緊急入院。</li> </ul> </div> <div> <h3>入院後経過</h3> <ul style="list-style-type: none"> <li>・Hb 6.6 l/g/dl L GRP &lt;0.3 mg/dl</li> <li>・正球性貧血 (RBC 227万 l/μl MCV 88.1)</li> <li>・amylase 158 IU/L, p-amylase 74 IU/l</li> <li>・緊急上下部内視鏡 - 明らかな出血源なく、十二指腸のsecond portion にのみ血液付着</li> <li>・CT (一回目)：慢性膵炎指摘、膵頭部に石灰化</li> <li>・小腸造影 - 異常なし</li> <li>・HSA出血シンチ - 異常なし</li> <li>・輸血(MAP 2U×3回)</li> </ul> </div> </div> |  |        |  |                    |
| <div> <div> <p>図1 腹部造影CT (1回目、遅延相)</p> </div> <div> <p>図2 上腹部dynamic CT (2回目)</p> </div> <div> <p>図3. MPVR-MIP</p> </div> </div>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |  |        |  |                    |
| <div> <div> <p>図4. 腹腔動脈撮影</p> </div> <div> <p>図5 上腹部dynamic CT (2回目)</p> </div> <div> <p>図5. 胃十二指腸動脈撮影</p> <p>後上十二指腸動脈起始部近くに仮性動脈瘤を認める。この瘤は図3、4でも見えている。</p> </div> </div>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |  |        |  |                    |
| <div> <div> <p>塞栓術後の上腸間膜動脈撮影にて、後下十二指腸動脈起始部の近くにも小さな仮性動脈瘤の残存を認めたが、膵炎の合併を恐れ、塞栓術は追加しなかった。</p> </div> <div> <p>5ヶ月後のERCP</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・主膵管内に結石</li> <li>・膵管拡張</li> </ul> </div> <div> <h3>Hemosuccus Pancreaticus</h3> <ul style="list-style-type: none"> <li>・Sandblom P. (1970) が最初に報告</li> <li>・膵管からの大量の出血を指す</li> <li>・ほとんどのものが慢性膵炎に伴うもの</li> <li>・仮性動脈瘤の膵管内破裂により膵管から出血</li> <li>・その他に外傷性、富血性腫瘍の膵転移、迷走膵(異所性膵)などによるものも報告されている</li> <li>・報告 65例(塞栓術による治療例 9例)</li> </ul> </div> </div>                                                                                                                                                                                                                                                                                      |  |        |  |                    |
| <div> <div> <h3>Hemosuccus Pancreaticus : 診断</h3> <ul style="list-style-type: none"> <li>・出血は間欠的なため、動脈から膵管への出血が描出されるのはまれ。(Suter, 1995)</li> <li>・内視鏡で主膵管からの出血をもって診断(Morse, 1983; Jacobs, 1992)。</li> <li>・内視鏡で不明なものは血管撮影が有用(Shahani, 1994)。</li> <li>・CTで慢性膵炎、動脈瘤。</li> <li>・3D-CTangiography も有用 (Malzfeldt, 1997)。</li> </ul> </div> <div> <h3>Hemosuccus Pancreaticus : 治療</h3> <ul style="list-style-type: none"> <li>・手術</li> <li>・膵部分切除、脾摘、動脈の結紮</li> <li>・塞栓術</li> <li>・動脈瘤の近位・遠位の塞栓</li> </ul> </div> <div> <h3>Hemosuccus Pancreaticus</h3> <ul style="list-style-type: none"> <li>・慢性膵炎に仮性動脈瘤が合併する頻度は約10% (White, 1976; Hofer, 1987)。</li> <li>・慢性膵炎症例における消化管出血を見た場合には、この疾患を念頭に置いて詳細に撮影する必要がある。</li> </ul> </div> </div>                                                                     |  |        |  |                    |
| <div> <div></div> <div></div> <div></div> <div></div> <div></div> <div></div> <div></div> <div></div> <div></div> <div></div> <div></div> <div></div> <div></div> <div></div> <div></div> <div></div> <div></div> <div></div> <div></div> <div></div> </div>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |  |        |  |                    |
|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |  |        |  | 900mm<br>↓<br>60mm |
|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |  |        |  | 80mm               |
| 1160mm                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |  |        |  |                    |

# クイズポスターの見本 (A4 用紙に印刷してポスターを組んだ場合)

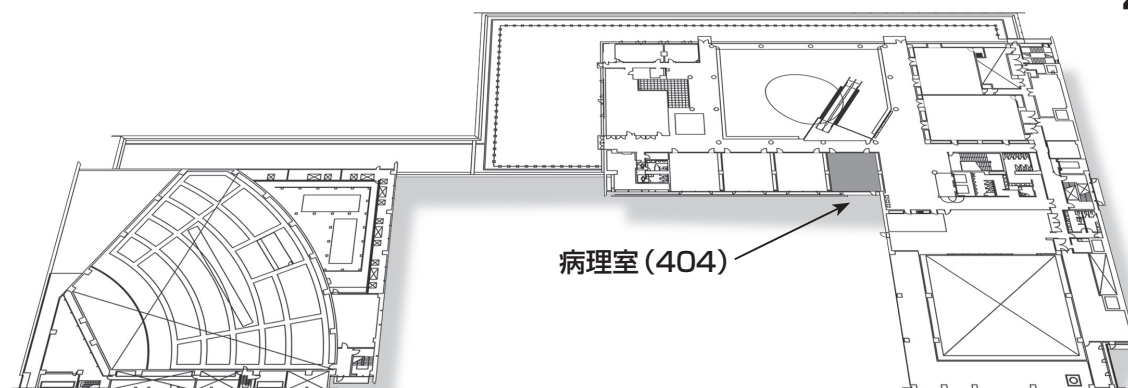
## クイズポスターの見本 (A4用紙に印刷してポスターを組んだ場合)

A4用紙を使った場合、下の解答・解説欄には最大3列×4行、上の問題欄には3列×4行、計24枚のA4用紙が横置きで貼り付けられます。

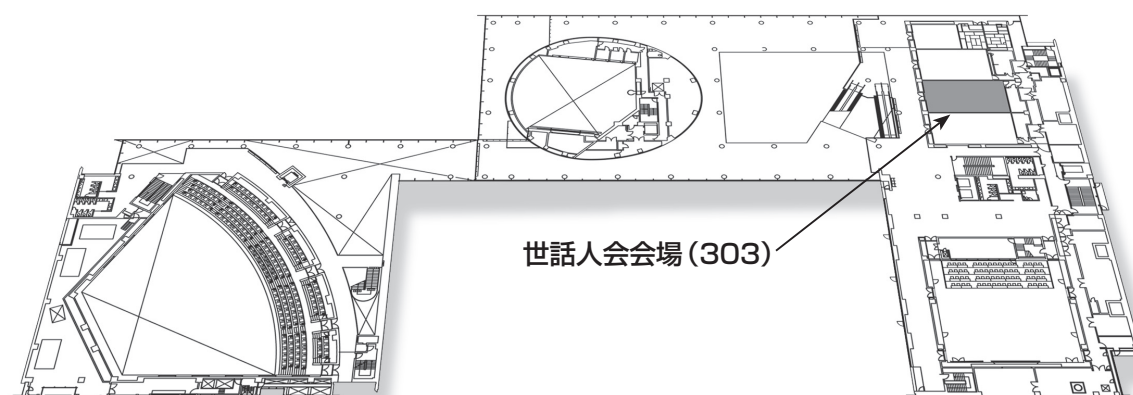
|                                                                                                                                                                                                                                                             |  |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |  |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 事務局で<br>準備します                                                                                                                                                                                                                                               |  | 使用しません                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |  | 135mm<br>60mm                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
| <p>図に番号をふっておくと解説の際に便利です (論文の様に)</p>                                                                                                                                                                                                                         |  |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |  |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
| <p><b>症例</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>68歳男性</li> <li>主訴: 下血、心窩部痛、嘔吐、冷汗</li> <li>日本酒2合x52年</li> <li>6月検診にて貧血増強(Hb 8台)近医受診、7月頃下血が一度あり、9月に気分不快、悪心、嘔吐、下血があり、他院緊急入院。Hb5台、輸血。CT、US行っても出血源不明。11月に血便、ふらつきがあったため、当院受診。Hb 6.6と低下のため緊急入院。</li> </ul> |  | <p>図1. 腹部造影CT (1回目、遅延相)</p>                                                                                                                                                                                                                                                |  | <p>図2. 上腹部dynamic CT (2回目)</p>                                                                                                                                                                                                    |
| <p>図3. MPVR-MIP</p>                                                                                                                                                        |  | <p>図4. 腹腔動脈造影</p>                                                                                                                                                                                                                                                          |  | <p>画像所見の解説はここでは伏せて、どういう検査かのみ示しておいて下さい (Key pointがわかりにくい場合は矢印などを付け、その解説は解答・解説欄で述べて下さい)</p>                                                                                                                                                                                                                           |
| <p>この線を境に、解答・解説欄は下の行に、問題欄は上の行に詰めて下さい。</p>                                                                                                                                                                                                                   |  | <p>key imageは繰り返して提示していただいても構いません。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |  | 900mm                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
| <p>タイトル・発表者・施設名、それに引き続くその後の経過</p> <p><b>塞栓術で治療した Hemosuccus Pancreaticus の1症例</b></p> <p>魚山 登史, 桐生 茂, 南 孝, 赤野 正章, 吉岡 直紀, 古久 久雄, 渡辺 慎, 大友 邦</p> <p>東京大学医学部附属病院放射線科</p>                                                                                       |  | <p><b>入院後経過</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>Hb 6.6 g/dl, CRP &lt;0.3 mg/dl</li> <li>正球性貧血 (RBC 227万 /μl, MCV 88.1)</li> <li>amylase 158 IU/L, p-amylase 74 IU/L</li> <li>緊急上下部内視鏡 - 明らかな出血源なく、十二指腸のsecond portion にのみ血漬付着</li> <li>CT (1回目): 慢性膵炎指摘、膵頭部に石灰化</li> <li>小腸造影 - 異常なし</li> <li>HSA出血シンチ - 異常なし</li> <li>輸血 (MAP 2Ux3回)</li> </ul> |  | <p>図2. 上腹部dynamic CT (2回目)</p>  <p>膵石灰化に接して胃十二指腸動脈(矢印)につながるように動脈瘤(矢印)を認める。</p>                                                                                                                                                  |
| <p>図5. 胃十二指腸動脈造影</p>  <p>後上降十二指腸動脈起始部近くに仮性動脈瘤を認める。この瘤は図3、4でも見えている。</p>                                                                                                   |  | <p><b>最終診断</b></p> <p>Hemosuccus Pancreaticus</p> <p>hemo=[G, ha/me] blood<br/>sucus=[L, ] juice</p>                                                                                                                                                                                                                                                        |  | <p>塞栓術後の上腸間動脈造影にて、後上降十二指腸動脈起始部の近くにも小さな仮性動脈瘤の残存を認めたが、膵炎の合併を恐れ、塞栓術は追加しなかった。</p>                                                                                                                                                   |
| <p>5ヶ月後のERCP</p>  <ul style="list-style-type: none"> <li>主膵管内に結石</li> <li>膵管拡張</li> </ul>                                                                                |  | <p><b>Hemosuccus Pancreaticus</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>Sandblom P. (1970) が最初に報告</li> <li>膵管からの大量の出血を指す</li> <li>ほとんどのものが慢性膵炎に伴うもの</li> <li>仮性動脈瘤の膵管内破裂により膵管から出血</li> <li>その他に外傷性、富血性腫瘍の膵転移、迷走脾 (異所性脾) などによるものも報告されている</li> <li>報告 65例 (塞栓術による治療例 9例)</li> </ul>                                                                      |  | <p><b>Hemosuccus Pancreaticus : 診断</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>出血は間欠的なため、動脈から膵管への出血が描出されるのはまれ。(Suter, 1995)</li> <li>内視鏡で主膵管からの出血をもって診断(Morse, 1983; Jacobs, 1992)。</li> <li>内視鏡で不明なものは血管造影が有用(Shahani, 1994)。</li> <li>CTで慢性膵炎、動脈瘤。</li> <li>3D-CTangiography も有用 (Matzfeldt, 1997)。</li> </ul> |
| <p><b>Hemosuccus Pancreaticus : 治療</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>手術 <ul style="list-style-type: none"> <li>膵部分切除、膵摘、動脈の結紮</li> </ul> </li> <li>塞栓術 <ul style="list-style-type: none"> <li>動脈瘤の近位・遠位の塞栓</li> </ul> </li> </ul>              |  | <p><b>Hemosuccus Pancreaticus</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>慢性膵炎に仮性動脈瘤が合併する頻度は約10% (White, 1976; Hofer, 1987)。</li> <li>慢性膵炎症例における消化管出血を見た場合には、この疾患を念頭に置いて詳細に撮影する必要がある。</li> </ul>                                                                                                                                                         |  | <p>必要な場合はreferenceを加えて下さい</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
| 1160mm<br>80mm                                                                                                                                                                                                                                              |  |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |  |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |

## 会場フロア図

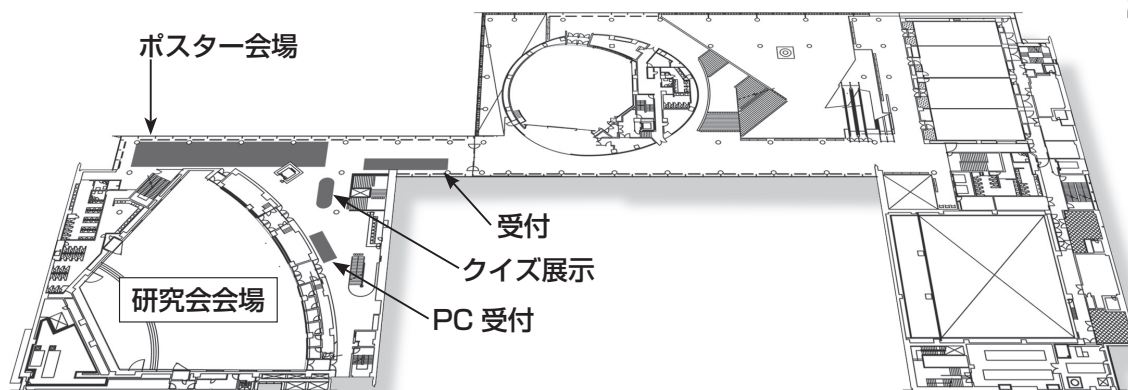
4th Floor



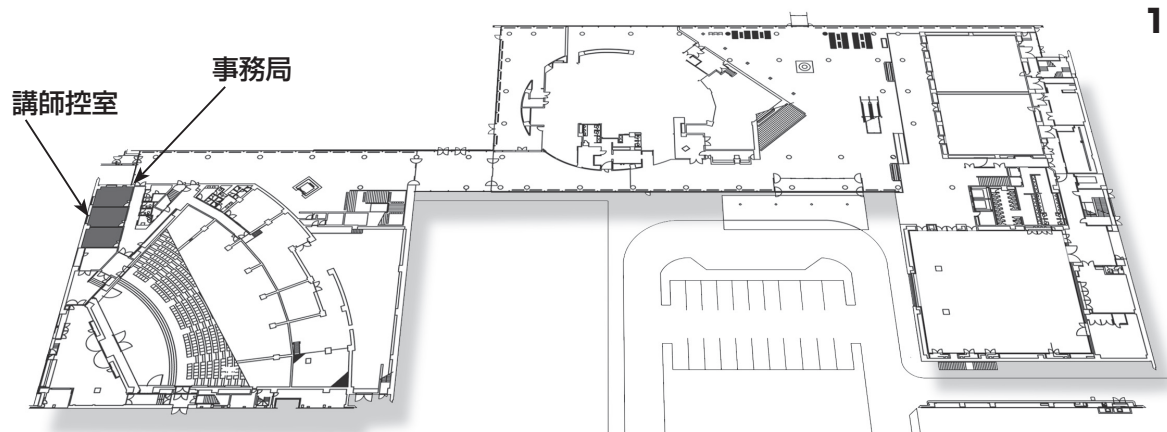
3rd Floor



2nd Floor



1st Floor



## プログラム・日程表

|       | 6月6日（金）                                                            | 6月7日（土）                                   |
|-------|--------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------|
| 8:50  |                                                                    |                                           |
| 9:00  | 8:50～ 開会の辞                                                         |                                           |
|       | 9:00～9:40<br>肝臓1 O-1～O-5                                           | 9:00～9:48<br>消化管2・腹腔 O-35～O-40            |
| 10:00 | 9:40～10:28<br>肝臓2 O-6～O-11                                         | 9:48～10:36<br>子宮・卵巣1 O-41～O-46            |
|       | coffee break 10:28～10:45                                           | coffee break 10:36～10:50                  |
| 11:00 | 10:45～11:33<br>脾臓1 O-12～O-17                                       | 10:50～11:20<br>基調講演：画像診断の基礎となる病理（南口早智子先生） |
| 12:00 | 11:33～12:21<br>脾臓2・脾臓 O-18～O-23                                    | 11:20～12:08<br>子宮・卵巣2 O-47～O-52           |
|       | coffee break 12:21～12:30                                           | coffee break 12:08～12:40                  |
| 13:00 | 12:30～13:20<br>ランチョンセミナー                                           | 12:40～13:30<br>ランチョンセミナー                  |
|       | 13:20～13:50<br>基調講演：画像診断とIVR（中村健治先生）                               | 13:30～14:00<br>打田賞受賞講演・表彰                 |
| 14:00 | coffee break 13:50～14:50<br>世話人会                                   | 14:00～14:20 事務局連絡                         |
|       |                                                                    | coffee break 14:20～14:40                  |
| 15:00 | 14:50～15:30<br>胆道・胆嚢 O-24～O-28                                     | 14:40～15:20<br>腎泌尿器 O-53～O-57             |
| 16:00 | 15:30～16:18<br>消化管1 O-29～O-34                                      | 15:20～16:08<br>後腹膜その他 O-58～O-63           |
|       | coffee break 16:18～16:30                                           | 16:08～<br>閉会の辞：南 学先生                      |
| 17:00 | 16:30～17:20<br>サテライトセミナー                                           |                                           |
| 18:00 | 17:30～18:15<br>ポスターディスカッション<br>（展示発表の演者は各展示の前に立ち、<br>質問等に対応してください） |                                           |
|       | ポスター閲覧                                                             |                                           |
| 19:00 | 19:00～<br>解答・解説の公開                                                 |                                           |
| 20:00 |                                                                    |                                           |

〔発表5分、質疑3分 合計8分〕

## 口 演 (6月6日)

8:50 ~

### 開会の辞

当番世話人 南 学 (筑波大学 臨床医学系・放射線医学)

9:00 ~ 9:40

### セッション 1. 肝 臓 1 (5 題)

座 長 松枝 清 (癌研有明病院 画像診断部)

コメンテーター 森下由紀雄 (筑波大学 分子病理学)

#### O-1 肝原発滑膜肉腫の 1 例

菅野 愛, 渡谷 岳行, 赤羽 正章, 大友 邦  
東京大学医学部 放射線科

#### O-2 急性転帰を辿った肝腫瘍の一例

三浦 弘志  
日野市立病院 放射線科

#### O-3 長期に経過の追えた胆管内発育を主体とした粘液産生転移性肝癌の 1 例

金 丞奎<sup>1</sup>, 鶴崎 正勝<sup>1</sup>, 三宅 基隆<sup>1</sup>, 祖父江慶太郎<sup>1</sup>, 廣川 高久<sup>2</sup>  
尾島 英知<sup>3</sup>, 平岡 伸介<sup>3</sup>, 江崎 稔<sup>4</sup>, 水口 安則<sup>1</sup>, 金井 弥栄<sup>3</sup>  
荒井 保明<sup>1</sup>, 杉村 和朗<sup>5</sup>  
国立がんセンター中央病院 放射線診断部<sup>1</sup>, 国立がんセンター中央病院 臨床検査部 病理<sup>2</sup>  
国立がんセンター研究所 病理部<sup>3</sup>, 国立がんセンター中央病院 肝胆膵外科<sup>4</sup>  
神戸大学大学院医学系研究科 内科系講座 放射線医学分野<sup>5</sup>

#### O-4 肝リンパ管腫の 1 例

三宅 基隆<sup>1</sup>, 鶴崎 正勝<sup>1</sup>, 祖父江慶太郎<sup>1</sup>, 桜田 愛音<sup>1</sup>, 立石宇貴秀<sup>1</sup>  
荒井 保明<sup>1</sup>, 尾島 英知<sup>2</sup>, 島田 和明<sup>3</sup>, 杉村 和朗<sup>4</sup>  
国立がんセンター中央病院 放射線診断部<sup>1</sup>, 国立がんセンター研究所 病理部<sup>2</sup>  
国立がんセンター中央病院 肝胆膵外科<sup>3</sup>  
神戸大学大学院医学系研究科 内科系講座放射線医学分野<sup>4</sup>

#### O-5 多発性結節性脂肪沈着を呈した成人発症Ⅱ型シトルリン血症の一例

山田 哲, 上田 和彦, 高橋 正明, 高橋 加奈, 藤田 顕  
黒住 昌弘, 川上 聡, 藤永 康成, 角谷 眞澄  
信州大学医学部 画像医学講座

9:40 ~ 10:28

### セッション 2. 肝 臓 2 (6 題)

座 長 近藤 浩史 (岐阜大学 医学部附属病院 放射線科)

コメンテーター 森下由紀雄 (筑波大学 分子病理学)

#### O-6 うっ血による広範な肝細胞脱落がみられた Budd-Chiari 症候群 (BCS) の一例

上田 和彦, 藤永 康成, 黒住 明子, 山田 哲, 渡辺 智治  
柳澤 新, 大彌 歩, 杉山由紀子, 角谷 眞澄  
信州大学医学部 画像医学講座

## O-7 肝 reactive lymphoid hyperplasia の 1 例

山田 有則<sup>1</sup>, 高橋 康二<sup>1</sup>, 長沢 研一<sup>1</sup>, 稲岡 努<sup>1</sup>, 佐久間明洋<sup>1</sup>, 佐々木智章<sup>1</sup>  
高田 延寿<sup>1</sup>, 高田 陽子<sup>1</sup>, 村田 理恵<sup>1</sup>, 小林 圭吾<sup>1</sup>, 徳佐 良彦<sup>3</sup>, 鈴木 康秋<sup>2</sup>  
旭川医科大学 放射線科<sup>1</sup>, 旭川医科大学 第 3 内科<sup>2</sup>, 旭川医科大学 消化器・血液腫瘍制御内科学分野<sup>3</sup>

## O-8 RFA 後に発生した右横隔膜ヘルニアの 2 例

南 哲弥<sup>1</sup>, 龍 泰治<sup>1</sup>, 井上 大<sup>1</sup>, 南 麻紀子<sup>1</sup>, 香田 渉<sup>1</sup>, 小林 聡<sup>1</sup>  
蒲田 敏文<sup>1</sup>, 松井 修<sup>1</sup>, 波佐谷兼慶<sup>2</sup>, 岡田 俊英<sup>2</sup>, 山岸 正和<sup>2</sup>, 尾島 英介<sup>3</sup>  
中川原寿俊<sup>3</sup>, 田島 秀浩<sup>3</sup>, 高村 博之<sup>3</sup>, 太田 哲生<sup>3</sup>  
金沢大学医学部 放射線科<sup>1</sup>, 金沢大学医学部 第 2 内科<sup>2</sup>, 金沢大学医学部 第 2 外科<sup>3</sup>

## O-9 stem cell 由来と考えられた肝腫瘍の 1 例

佐野 勝廣<sup>1</sup>, 市川 智章<sup>1</sup>, 本杉宇太郎<sup>1</sup>, 荒木 力<sup>1</sup>, 岡田 俊一<sup>2</sup>  
北村 敬利<sup>2</sup>, 榎本 信幸<sup>2</sup>, 松田 政徳<sup>3</sup>, 鈴木 哲也<sup>4</sup>, 藤井 秀樹<sup>3</sup>  
山梨大学医学部 放射線科<sup>1</sup>, 山梨大学医学部 第一内科<sup>2</sup>  
山梨大学医学部 第一外科<sup>3</sup>, 国立病院機構甲府病院 外科<sup>4</sup>

## O-10 術前診断が困難であった多嚢胞性胆管性過誤腫の 1 例

瀬之口輝寿<sup>1</sup>, 馬場 康貴<sup>1</sup>, 林 完勇<sup>1</sup>, 中山 博史<sup>1</sup>, 中條 政敬<sup>1</sup>  
菰方 輝夫<sup>2</sup>, 九玉 輝明<sup>2</sup>, 中村 登<sup>2</sup>, 坂田 隆造<sup>2</sup>, 東 美智代<sup>3</sup>  
鹿児島大学 放射線科<sup>1</sup>, 鹿児島大学 消化器外科<sup>2</sup>, 鹿児島大学 病理学<sup>3</sup>

## O-11 限局性胆管拡張と診断された肝嚢胞性腫瘍の 1 例

龍 泰治<sup>1</sup>, 蒲田 敏文<sup>1</sup>, 井上 大<sup>1</sup>, 南 哲弥<sup>1</sup>, 香田 渉<sup>1</sup>, 小林 聡<sup>1</sup>  
眞田順一郎<sup>1</sup>, 松井 修<sup>1</sup>, 全 陽<sup>2</sup>, 山下 要<sup>3</sup>, 尾島 英介<sup>4</sup>, 下崎 真吾<sup>4</sup>  
大西 一郎<sup>4</sup>, 田島 秀浩<sup>4</sup>, 高村 博之<sup>4</sup>, 谷 卓<sup>4</sup>, 太田 哲生<sup>4</sup>  
金沢大学医学部 放射線科<sup>1</sup>, 金沢大学医学部 病理部<sup>2</sup>  
金沢大学医学部 がん高度先進治療センター<sup>3</sup>, 金沢大学医学部 肝胆膵・移植外科<sup>4</sup>

---

10:28～10:45 コーヒーブレイク

---

10:45～11:33 セッション 3. 臍 臓 1 (6 題)

---

座 長 蒲田 敏文 (金沢大学 医学部 放射線科)  
コメンテーター 福島 敬宜 (東京大学 人体病理・病理学診断)

## O-12 乏粘液産生型非浸潤性膵管内乳頭腺癌の一例

牛尾 貴輔<sup>1</sup>, 竹原 康雄<sup>1</sup>, 磯田 治夫<sup>1</sup>, 那須 初子<sup>1</sup>, 神谷 美加<sup>1</sup>, 山下 修平<sup>1</sup>  
芳澤 暢子<sup>1</sup>, 平井 雪<sup>1</sup>, 村松 克晃<sup>1</sup>, 小西 憲太<sup>1</sup>, 馬場 聡<sup>2</sup>  
浜松医科大学医学部 放射線医学講座<sup>1</sup>, 浜松医科大学付属病院 病理部<sup>2</sup>

## 口 演 (6月6日)

### O-13 1年の経過で数mm大の嚢胞性病変が急速増大を示した膵管内乳頭粘液性腺癌の1例

高司 亮<sup>1</sup>, 山田 康成<sup>1</sup>, 松本 俊郎<sup>1</sup>, 本郷 哲央<sup>1</sup>  
田上 秀一<sup>1</sup>, 森 宣<sup>1</sup>, 内田 智久<sup>2</sup>, 守山 正胤<sup>2</sup>

大分大学医学部 腫瘍病態制御講座放射線医学<sup>1</sup>, 大分大学医学部 免疫アレルギー制御講座病理学第二<sup>2</sup>

### O-14 画像上位置が移動した膵嚢胞性腫瘍の1例

伊藤 真弥<sup>1</sup>, 伊藤 茂樹<sup>2</sup>, 佐竹 弘子<sup>1</sup>, 駒田 智大<sup>1</sup>  
鈴木耕次郎<sup>1</sup>, 長縄 慎二<sup>1</sup>, 江崎 智希<sup>3</sup>

名古屋大学医学部 放射線科<sup>1</sup>, 名古屋大学医学部 保健学科<sup>2</sup>, 名古屋大学医学部 消化器外科<sup>1</sup>

### O-15 膵粘液癌の一例

山本 琢水<sup>1</sup>, 中島 寛人<sup>1</sup>, 遠山 敬司<sup>1</sup>, 望月 邦夫<sup>2</sup>  
小山 敏雄<sup>2</sup>, 三井 照夫<sup>3</sup>, 荒木 力<sup>4</sup>

山梨県立中央病院 放射線科<sup>1</sup>, 山梨県立中央病院 病理<sup>2</sup>

山梨県立中央病院 外科<sup>3</sup>, 山梨大学医学部 放射線科<sup>4</sup>

### O-16 主膵管に沿って進展した islet cell tumor の1例

市川新太郎<sup>1</sup>, 佐野 勝廣<sup>2</sup>, 曹 博信<sup>2</sup>, 本杉宇太郎<sup>2</sup>, 市川 智章<sup>2</sup>  
荒木 力<sup>2</sup>, 板倉 淳<sup>3</sup>, 松田 政徳<sup>3</sup>, 藤井 秀樹<sup>3</sup>

社会保険山梨病院 放射線科<sup>1</sup>, 山梨大学医学部 放射線科<sup>2</sup>, 山梨大学医学部 第一外科<sup>3</sup>

### O-17 膵 neuroendocrine (endocrine) carcinoma の一例

中島 諭, 大野 文美, 黒田 昌志, 荒木 則雄, 伊藤 剛

国立病院機構京都医療センター 放射線科

---

## 11:33~12:21 セッション4. 膵臓2・脾臓 (6題)

---

座 長 上田 和彦 (信州大学 医学部 画像医学講座)

コメンテーター 福島 敬宜 (東京大学 人体病理・病理学診断)

### O-18 副腎癌術後11年で孤発性膵転移を来した1例

河野 淳<sup>1</sup>, 大森 美佳<sup>1</sup>, 藤井 正彦<sup>1</sup>, 杉村 和朗<sup>1</sup>, 大林 千穂<sup>2</sup>

神戸大学大学院 内科学講座放射線医学分野<sup>1</sup>, 神戸大学附属病院 病理部<sup>2</sup>

### O-19 aggressive solid pseudopapillary tumor の一例

神吉 昭彦<sup>1</sup>, 山下 武則<sup>1</sup>, 佐藤 朋宏<sup>1</sup>, 田中 冬樹<sup>1</sup>  
玉田 勉<sup>1</sup>, 今井 茂樹<sup>1</sup>, 伊東 克能<sup>1</sup>, 定平 吉都<sup>2</sup>

川崎医科大学 放射線科<sup>1</sup>, 川崎医科大学病院 病理部<sup>2</sup>

### O-20 拡散強調画像、FDG-PETにて陽性所見を呈した solid-pseudopapillary tumor の一例

嶋田功太郎<sup>1</sup>, 磯田 裕義<sup>1</sup>, 中本 裕士<sup>1</sup>, 有蘭 茂樹<sup>1</sup>, 広川 侑奨<sup>1</sup>  
前谷 洋爾<sup>1</sup>, 富樫かおり<sup>1</sup>, 新田 隆士<sup>2</sup>, 土井隆一郎<sup>2</sup>, 羽賀 博典<sup>3</sup>

京都大学医学部附属病院 放射線診断科<sup>1</sup>, 京都大学医学部附属病院 肝胆膵移植外科<sup>2</sup>

京都大学医学部附属病院 病理診断科<sup>3</sup>

### O-21 脾内副脾より生じた epithelial cyst の一例

笹栗 弘平<sup>1</sup>, 中園 貴彦<sup>1</sup>, 江頭 秀哲<sup>1</sup>, 野尻 淳一<sup>1</sup>, 入江 裕之<sup>1</sup>  
工藤 祥<sup>1</sup>, 三好 篤<sup>2</sup>, 宮崎 耕治<sup>2</sup>, 甲斐 敬太<sup>3</sup>  
佐賀大学医学部 放射線科<sup>1</sup>, 佐賀大学医学部 一般・消化器外科<sup>2</sup>, 佐賀大学医学部 病理部<sup>3</sup>

### O-22 脾原発血管肉腫の一例

阿部 考志<sup>1</sup>, 佐藤 始広<sup>1</sup>, 奥村 敏之<sup>1</sup>, 塩山 靖和<sup>1</sup>, 望月 泰章<sup>2</sup>  
山下 裕玄<sup>2</sup>, 吉見 富洋<sup>2</sup>, 斉藤 仁昭<sup>3</sup>, 飯島 達生<sup>3</sup>, 永井 秀雄<sup>2</sup>  
茨城県立中央病院 放射線科<sup>1</sup>, 茨城県立中央病院 外科<sup>2</sup>, 茨城県立中央病院 病理<sup>3</sup>

### O-23 DIC にて発症した巨大 Isolated Splenic Peliosis の一例

竹内 均<sup>1</sup>, 輿石 剛<sup>1</sup>, 増川 愛<sup>1</sup>, 高田ゆかり<sup>1</sup>, 江夏 一彰<sup>2</sup>, 石澤 貢<sup>2</sup>  
東京都立府中病院 放射線科<sup>1</sup>, 東京都立府中病院 検査科<sup>2</sup>

---

## 12:21～12:30 コーヒーブレイク

---

## 12:30～13:20 ランチョンセミナー 1 バイエル薬品(株)

---

座 長 伊東 克能 (川崎医科大学 放射線医学教室)  
演 者 兼松 雅之 (岐阜大学医学部附属病院 放射線部)

『肝 MRI の新展開』

---

## 13:20～13:50 基調講演 1：画像診断と IVR

---

座 長 森 健作 (筑波大学 臨床医学系・放射線医学)  
演 者 中村 健治 (大阪市立大学大学院 放射線医学教室)

『腹部 IVR でおさえておくべき画像診断－ヒアリハットを含めて－』

---

## 13:50～14:50 コーヒーブレイク・世話人会

---

## 口 演 (6月6日)

### 14:50～15:30 セッション5. 胆道・胆嚢 (5題)

座 長 吉満 研吾 (九州大学大学院 医学研究院 臨床放射線科学)

#### O-24 胆嚢粘液癌の1例

福田 大記<sup>1</sup>, 児玉 芳尚<sup>1</sup>, 櫻井 康雄<sup>1</sup>, 土屋 貴愛<sup>2</sup>, 栗田 亮<sup>2</sup>, 一箭 珠貴<sup>2</sup>  
浦田 孝広<sup>2</sup>, 松崎 晋平<sup>2</sup>, 深澤 光晴<sup>2</sup>, 小山内 学<sup>2</sup>, 潟沼 朗生<sup>2</sup>, 高橋 邦幸<sup>2</sup>  
真口 宏介<sup>2</sup>, 野路 武寛<sup>3</sup>, 安保 義恭<sup>3</sup>  
手稲溪仁会病院 放射線科<sup>1</sup>, 手稲溪仁会病院 消化器科<sup>2</sup>, 手稲溪仁会病院 外科<sup>3</sup>

#### O-25 胆嚢に浸潤を来した悪性リンパ腫の1例

伊藤 悟志<sup>1</sup>, 都築 和宏<sup>1</sup>, 山西 伴明<sup>1</sup>, 村田 和子<sup>1</sup>, 濱田 典彦<sup>1</sup>  
耕崎 志乃<sup>2</sup>, 福本 光孝<sup>2</sup>, 耕崎 拓大<sup>3</sup>, 西森 功<sup>3</sup>, 大西 三郎<sup>3</sup>  
小松 直樹<sup>4</sup>, 砥谷 和人<sup>4</sup>, 横山 彰仁<sup>4</sup>  
高知大学医学部 放射線科<sup>1</sup>, 高知大学医学部附属病院 PET センター<sup>2</sup>  
高知大学医学部 第一内科<sup>3</sup>, 高知大学医学部 第三内科<sup>4</sup>

#### O-26 胆嚢漿膜下に発生した Castleman 病の1例

公田 龍一<sup>1</sup>, 上野 彰久<sup>1</sup>, 杉浦 弘明<sup>1</sup>, 奥田 茂男<sup>1</sup>, 陣崎 雅弘<sup>1</sup>  
谷本 伸弘<sup>1</sup>, 栗林 幸夫<sup>1</sup>, 高野 公德<sup>2</sup>, 亀山 香織<sup>3</sup>, 山田 祥岳<sup>1</sup>  
慶應義塾大学病院 放射線診断科<sup>1</sup>, 慶應義塾大学病院 一般消化器外科<sup>2</sup>, 慶應義塾大学病院 病理診断科<sup>3</sup>

#### O-27 胆嚢炎による胆嚢破裂を腹部超音波にて診断し得た異染性白質ジストロフィーの1例

村岡 加苗<sup>1</sup>, 岡崎 正敏<sup>1</sup>, 藤光 律子<sup>1</sup>, 井田 樹子<sup>1</sup>  
浅部 浩史<sup>2</sup>, 岡 陽一郎<sup>2</sup>, 井上 貴仁<sup>3</sup>, 藤田 貴子<sup>3</sup>  
福岡大学医学部 放射線科<sup>1</sup>, 福岡大学病院 小児外科<sup>2</sup>, 福岡大学病院 小児科<sup>3</sup>

#### O-28 IPMN に IPMB が併存していた一例

齊藤 正人<sup>1</sup>, 廣川 直樹<sup>1</sup>, 荒谷 和紀<sup>1</sup>, 佐藤 大志<sup>1</sup>, 山 直也<sup>1</sup>, 晴山 雅人<sup>1</sup>  
永山 稔<sup>2</sup>, 信岡 隆幸<sup>2</sup>, 木村 康利<sup>2</sup>, 平田 公一<sup>2</sup>, 尾松 睦子<sup>3</sup>  
札幌医科大学医学部 放射線科<sup>1</sup>, 札幌医科大学医学部 第一外科<sup>2</sup>, 札幌医科大学医学部 病理部<sup>3</sup>

### 15:30～16:18 セッション6. 消化管 1 (6題)

座 長 白神 信之 (東邦大学医療センター大森病院 放射線科)

#### O-29 腫瘍内出血カテーテル塞栓術2年半後に急速増大した GIST の1例

原田 明典<sup>1</sup>, 川上 剛<sup>1</sup>, 山田 哲久<sup>1</sup>, 三廻部 肇<sup>1</sup>, 高田 全希<sup>2</sup>, 徳留 隆博<sup>3</sup>  
東京労災病院 放射線科<sup>1</sup>, 東京労災病院 外科<sup>2</sup>, 東京労災病院 病理科<sup>3</sup>

#### O-30 黄色肉芽腫性胃炎の一例

土田 千賀<sup>1</sup>, 岩崎 俊子<sup>1</sup>, 藤岡 雅子<sup>2</sup>, 泉 俊昌<sup>2</sup>, 河原 栄<sup>3</sup>  
福井総合病院 放射線科<sup>1</sup>, 福井総合病院 外科<sup>2</sup>, 金沢大学医学部 保健学科<sup>3</sup>

### O-31 好酸球性胃腸炎の一例

橋村 宏美<sup>1</sup>, 赤坂 好宣<sup>1</sup>, 山口 善道<sup>1</sup>, 西山 章次<sup>1</sup>, 三好 麻里<sup>2</sup>  
兵庫県立こども病院 放射線科<sup>1</sup>, 兵庫県立こども病院 アレルギー科<sup>2</sup>

### O-32 回腸 Pyogenic Granuloma (Lobular Capillary Hemangioma) の一例

笹井 信也<sup>1</sup>, 井田健太郎<sup>1</sup>, 加地 充昌<sup>1</sup>, 金澤 右<sup>2</sup>  
岡山画像診断センター<sup>1</sup>, 岡山大学医学部 放射線科<sup>2</sup>

### O-33 翻転メッケル憩室を先進部とした腸重積の2例

岩佐 怜奈<sup>1</sup>, 伊藤 亨<sup>1</sup>, 上田 浩之<sup>1</sup>, 芝田 豊通<sup>1</sup>, 須賀 義文<sup>2</sup>, 田村 亮<sup>3</sup>  
神戸市立医療センター中央市民病院 画像診断・放射線治療科<sup>1</sup>,  
神戸市立医療センター中央市民病院 消化器内科<sup>2</sup>, 神戸市立医療センター中央市民病院 外科<sup>3</sup>

### O-34 メッケル憩室周囲に限局性の脂肪織を認めた1例

與儀 彰<sup>1</sup>, 宜保 昌樹<sup>1</sup>, 運天 忍<sup>1</sup>, 千葉 至<sup>1</sup>, 中山 格<sup>1</sup>  
森田 光<sup>1</sup>, 村山 貞之<sup>1</sup>, 佐村 博範<sup>2</sup>, 西巻 正<sup>2</sup>  
琉球大学医学部 放射線科<sup>1</sup>, 琉球大学医学部 第1外科<sup>2</sup>

---

## 16:18～16:30 コーヒーブレイク

---

## 16:30～17:20 サテライトセミナー GE 横河メディカルシステム(株)

---

座 長 角谷 眞澄 (信州大学 医学部 画像診断医学講座)  
演 者 谷本 伸弘 (慶應義塾大学 医学部 放射線診断科)

『体幹部における Volume MR の有用性』

---

## 17:30～18:15 ポスターディスカッション

---

## 口 演 (6月7日)

### 9:00~9:48 セッション7. 消化管2・腹腔 (6題)

座 長 前谷 洋爾 (京都大学 医学部 放射線診断科)

#### O-35 消化管多発カルチノイド腫瘍の一例

北井 里実<sup>1</sup>, 成田 賢一<sup>1</sup>, 有泉 光子<sup>1</sup>, 福田 国彦<sup>1</sup>, 酒田 昭彦<sup>2</sup>  
東京慈恵会医科大学 放射線医学講座<sup>1</sup>, 東京慈恵会医科大学付属青戸病院 病理部<sup>2</sup>

#### O-36 画像上虫垂に局限した日本住血吸虫症の一例

奥村 彰浩<sup>1</sup>, 佐野 勝廣<sup>1</sup>, 市川 智章<sup>1</sup>, 荒木 力<sup>1</sup>, 飯野 弥<sup>2</sup>, 藤井 秀樹<sup>2</sup>  
山梨大学医学部 放射線科<sup>1</sup>, 山梨大学医学部 第一外科<sup>2</sup>

#### O-37 腸回転異常に合併した上腸間膜静脈血栓症に対して血栓溶解術を施行した1例

岡原 美香<sup>1</sup>, 上田 真也<sup>1</sup>, 柏木 淳之<sup>1</sup>, 錦織 英史<sup>2</sup>, 島田 隆一<sup>3</sup>  
清末 一路<sup>3</sup>, 山田 康成<sup>3</sup>, 松本 俊郎<sup>3</sup>, 森 宣<sup>3</sup>  
新別府病院 放射線科<sup>1</sup>, 新別府病院 消化器内科<sup>2</sup>, 大分大学医学部 腫瘍病態制御講座放射線医学<sup>3</sup>

#### O-38 経皮内視鏡的胃瘻造設術後に発生する頭頸部癌の胃腹壁転移について

那須 克宏<sup>1</sup>, 黒木 嘉典<sup>2</sup>, 南 学<sup>1</sup>  
筑波大学臨床医学系 放射線医学<sup>1</sup>, 栃木県立がんセンター 放射線科<sup>2</sup>

#### O-39 腹部 fibromatosis (desmoid type) の一例

久能由記子<sup>1</sup>, 有川 俊二<sup>1</sup>, 内田 政史<sup>1</sup>, 早瀬 尚文<sup>1</sup>, 岡部 義信<sup>2</sup>  
菅 偉哉<sup>2</sup>, 木下 壽文<sup>3</sup>, 内藤 嘉紀<sup>4</sup>, 品川 正治<sup>5</sup>  
久留米大学医学部 放射線科<sup>1</sup>, 久留米大学医学部 消化器内科<sup>2</sup>, 久留米大学医学部 外科<sup>3</sup>  
久留米大学医学部 病理<sup>4</sup>, 順天堂大学病院<sup>5</sup>

#### O-40 生体肝移植後腹膜PTLD (Posttransplantation Lymphoproliferative Disorders) の一例

加藤 勝也<sup>1</sup>, 郷原 英夫<sup>1</sup>, 小林 桂子<sup>1</sup>, 赤木 史朗<sup>1</sup>  
清 哲朗<sup>1</sup>, 佐藤 修平<sup>1</sup>, 柳井 広之<sup>2</sup>, 金澤 右<sup>1</sup>  
岡山大学医学部 放射線科<sup>1</sup>, 岡山大学医学部 病理<sup>2</sup>

### 9:48~10:36 セッション8. 子宮・卵巣1 (6題)

座 長 田村 綾子 (お茶ノ水駿河台クリニック 画像診断センター)  
コメンテーター 濱田 智美 (東京慈恵会医科大学 人体病理学・病理形態学)

#### O-41 卵巣線維腫症の一例

竹内麻由美<sup>1</sup>, 松崎 健司<sup>1</sup>, 西谷 弘<sup>1</sup>, 古本 博孝<sup>2</sup>, 佐野 暢哉<sup>3</sup>  
徳島大学医学部 放射線科<sup>1</sup>, 徳島大学医学部 産婦人科<sup>2</sup>, 徳島大学病院 病理部<sup>3</sup>

#### O-42 卵巣 steroid cell tumor の1例

森阪 裕之<sup>1</sup>, 佐野 美香<sup>1</sup>, 佐野 勝廣<sup>1</sup>, 市川 智章<sup>1</sup>  
荒木 力<sup>1</sup>, 正田 朋子<sup>2</sup>, 端 晶彦<sup>2</sup>, 近藤 哲夫<sup>3</sup>  
山梨大学医学部 放射線科<sup>1</sup>, 山梨大学医学部 産婦人科<sup>2</sup>, 山梨大学医学部 人体病理学<sup>3</sup>

#### O-43 セルトリ・間質細胞腫瘍の一例

檜村 剛司<sup>1</sup>, 岡田 進<sup>1</sup>, 桑子 智之<sup>1</sup>, 中條 秀信<sup>1</sup>, 木島 鉄仁<sup>1</sup>  
川俣 博志<sup>1</sup>, 大秋 美治<sup>2</sup>, 鴨井 青龍<sup>3</sup>, 汲田伸一郎<sup>4</sup>

日本医科大学千葉北総病院 放射線科<sup>1</sup>, 日本医科大学千葉北総病院 病理部<sup>2</sup>  
日本医科大学千葉北総病院 女性診療科<sup>3</sup>, 日本医科大学付属病院 放射線科<sup>4</sup>

#### O-44 卵巣血管腫の1例

市橋 成夫<sup>1</sup>, 渡邊 祐司<sup>1</sup>, 奥村 明<sup>1</sup>, 中西 正<sup>1</sup>, 永山 雅子<sup>1</sup>, 中野 覚<sup>1</sup>  
天羽 賢樹<sup>1</sup>, 石守 崇好<sup>1</sup>, 中下 悟<sup>1</sup>, 牧 大介<sup>1</sup>, 坂田 千恵<sup>1</sup>, 池田 格<sup>1</sup>  
有本 麻耶<sup>1</sup>, 藪田 実<sup>1</sup>, 百々 義廣<sup>1</sup>, 和仁 洋治<sup>2</sup>

倉敷中央病院 放射線科<sup>1</sup>, 倉敷中央病院 病理検査科<sup>2</sup>

#### O-45 血管腫成分を含む卵巣由来の奇形腫の1例

山口 健<sup>1</sup>, 中園 貴彦<sup>1</sup>, 入江 裕之<sup>1</sup>, 工藤 祥<sup>1</sup>  
平井 朋恵<sup>2</sup>, 岩坂 剛<sup>2</sup>, 山崎 文朗<sup>3</sup>

佐賀大学医学部 放射線科<sup>1</sup>, 佐賀大学医学部 産婦人科<sup>2</sup>, 佐賀大学医学部 病理部<sup>3</sup>

#### O-46 卵巣原発の扁平上皮癌の一例

佐野 美香<sup>1</sup>, 田中優美子<sup>1</sup>, 岡田 智志<sup>2</sup>, 沖 明典<sup>2</sup>, 吉川 裕之<sup>2</sup>, 南 学<sup>1</sup>

筑波大学大学院人間総合科学研究科 疾患制御医学専攻放射線医学分野<sup>1</sup>

筑波大学大学院人間総合科学研究科 疾患制御医学専攻婦人周産期医学分野<sup>2</sup>

---

### 10:36～10:50 コーヒーブレイク

---

### 10:50～11:20 基調講演2：画像診断の基礎となる病理

---

座 長 田中優美子 (筑波大学 臨床医学系・放射線医学)  
演 者 南口早智子 (京都医療センター 研究検査科)

『胎盤病理・マクロの基本』

---

### 11:20～12:08 セッション9. 子宮・卵巣2 (6題)

---

座 長 竹内麻由美 (徳島大学 医学部 放射線科)  
コメンテーター 濱田 智美 (東京慈恵会医科大学 人体病理学・病理形態学)

#### O-47 内膜症に合併した境界悪性類内膜腺線維腫の2例

岡島 由佳<sup>1</sup>, 松尾 義朋<sup>1</sup>, 田村 綾子<sup>1</sup>, 小野田 結<sup>1</sup>  
槇殿文香理<sup>1</sup>, 鈴木 高祐<sup>2</sup>, 齋田 幸久<sup>1</sup>

聖路加国際病院 放射線科<sup>1</sup>, 聖路加国際病院 病理診断科<sup>2</sup>

## 口 演（6月7日）

### O-48 MRI T2 強調画像にて低信号を呈した卵巣粘液嚢胞腺癌の一例

桑原 雅知<sup>1</sup>, 今岡いずみ<sup>1</sup>, 熊野 正士<sup>1</sup>, 岡田 真広<sup>1</sup>, 香川 祐毅<sup>1</sup>, 下野 太郎<sup>1</sup>  
柳生 行伸<sup>1</sup>, 土屋 典生<sup>1</sup>, 小塚 健倫<sup>1</sup>, 米矢 吉宏<sup>1</sup>, 任 誠雲<sup>1</sup>, 安藤 理奈<sup>1</sup>  
荒木 哲朗<sup>1</sup>, 松久保祐子<sup>1</sup>, 足利竜一郎<sup>1</sup>, 星合 昊<sup>2</sup>, 塩田 充<sup>2</sup>, 筑後 孝章<sup>3</sup>  
細野 眞<sup>1</sup>, 村上 卓道<sup>1</sup>

近畿大学医学部 放射線医学教室放射線診断学部門<sup>1</sup>, 近畿大学医学部 産科婦人科学教室<sup>2</sup>

近畿大学医学部 病理学教室<sup>3</sup>

### O-49 FDG-PET で高集積を示した uterine bizarre leiomyoma の 1 例

乗金精一郎<sup>1</sup>, 上者 郁夫<sup>2</sup>, 加藤 勝也<sup>1</sup>, 井田健太郎<sup>3</sup>, 笹井 信也<sup>3</sup>  
加地 充昌<sup>3</sup>, 柳井 広之<sup>4</sup>, 平松 祐司<sup>5</sup>, 金澤 右<sup>1</sup>

岡山大学医学部 放射線科<sup>1</sup>, 岡山大学医学部 保健学科<sup>2</sup>, 岡山画像診断センター<sup>3</sup>

岡山大学医学部 病理部<sup>4</sup>, 岡山大学医学部 産科婦人科<sup>5</sup>

### O-50 術前に FDG-PET/CT および MRI にて診断し得た G-CSF 産生子宮肉腫の 1 例

北島 一宏<sup>1</sup>, 村上 康二<sup>2</sup>, 山崎英玲奈<sup>2</sup>, 江島 泰生<sup>1</sup>, 石川 勉<sup>1</sup>  
楫 靖<sup>1</sup>, 江口真理子<sup>3</sup>, 三谷 絹子<sup>3</sup>, 稲葉不知之<sup>4</sup>, 深澤 一雄<sup>4</sup>  
稲葉 憲之<sup>4</sup>, 富田 茂樹<sup>5</sup>, 小山 徹也<sup>6</sup>

獨協医科大学 放射線科<sup>1</sup>, 獨協医科大学 PET センター<sup>2</sup>, 獨協医科大学 血液内科<sup>3</sup>

獨協医科大学 産科婦人科<sup>4</sup>, 獨協医科大学 病理学 (人体分子)<sup>5</sup>, 獨協医科大学 病理学 (形態)<sup>6</sup>

### O-51 緊急子宮動脈塞栓術により保存的に管理しえた帝王切開創部妊娠の一例

森田 賢<sup>1</sup>, 上野 恵子<sup>1</sup>, 鈴木 一史<sup>1</sup>, 町田 治彦<sup>1</sup>  
藤村 幹彦<sup>1</sup>, 倉田 章子<sup>2</sup>, 高木耕一郎<sup>2</sup>

東京女子医科大学東医療センター 放射線科<sup>1</sup>, 東京女子医科大学東医療センター 産婦人科<sup>2</sup>

### O-52 双胎の絨毛膜下血腫・羊膜間血腫の 1 例；MRI での胎児胎盤全体像評価の利点

信澤 宏<sup>1</sup>, 後閑 武彦<sup>2</sup>, 松岡 隆<sup>3</sup>, 関沢 明彦<sup>3</sup>, 岡井 崇<sup>3</sup>, 九島 巳樹<sup>4</sup>  
石心会川崎幸病院 放射線科<sup>1</sup>, 昭和大学医学部 放射線科<sup>2</sup>

昭和大学医学部 産婦人科<sup>3</sup>, 昭和大学病院 病院病理<sup>4</sup>

---

12:08～12:40 コーヒーブレイク

---

12:40～13:30 ランチョンセミナー 2

(株)フィリップスエレクトロニクスジャパンメディカルシステムズ

座 長 斎田 幸久 (聖路加国際病院 放射線部長)

演 者 伊藤 博敏 (京都府立医科大学大学院 医学研究科)

講演1『腹部画像診断ストラテジーの変革ーモダリティーからITインフラストラクチャーへー』

演 者 片平 和博 (熊本中央病院 放射線科)

講演2『消化器領域MRI診断の進歩』

## 13:30 ~ 14:00 打田賞受賞講演・表彰

表 彰 打田日出夫

司 会 松井 修

### 消 化 器「偽腺管形成が目立った肝細胞癌の一例」

北海道大学病院 放射線科 加藤 扶美

### 泌尿生殖器「後腹膜由来の巨大 Hibernoma の 1 例」

名古屋大学医学部 放射線科 久保田誠司

### 展 示「出血壊死をきたした副肝葉の 1 例」

横浜旭中央総合病院 放射線科 永井 京子

## 14:00 ~ 14:20 事務局連絡

## 14:20 ~ 14:40 コーヒーブレイク

## 14:40 ~ 15:20 セッション 10. 腎泌尿器 (5 題)

座 長 前田 哲雄 (神戸大学医学部 放射線科)

コメンテーター 石田 剛 (国立精神・神経センター 国府台病院 臨床検査部)

### O-53 腎腫瘍との鑑別が困難であった subepithelial hematoma of the renal pelvis の一例

西田 香織, 結縁 幸子, 井上 宏美, 伊藤 博敏, 西村 恒彦  
京都府立医科大学大学院 放射線診断治療学

### O-54 著明な脂肪成分を含有した副腎血管腫の 1 例

河合 信行, 生駒 顕, 生駒 貴子, 糸永公仁子, 尾田 英之  
三田 裕記, 下野 千草, 佐原 伸也, 中谷 和郎, 高坂 功  
中井 資貴, 南口 博紀, 武内 泰造, 谷畑 博彦, 佐藤 守男  
和歌山県立医科大学医学部 放射線医学教室

### O-55 膀胱原発 MALT リンパ腫の 1 例

藪田 実<sup>1</sup>, 渡邊 祐司<sup>1</sup>, 牧 大介<sup>1</sup>, 奥村 明<sup>1</sup>, 永山 雅子<sup>1</sup>, 中野 覚<sup>1</sup>  
天羽 賢樹<sup>1</sup>, 石守 崇好<sup>1</sup>, 吉村 通央<sup>1</sup>, 中下 悟<sup>1</sup>, 市橋 成夫<sup>1</sup>, 坂田 千恵<sup>1</sup>  
内野かおり<sup>2</sup>, 池田 格<sup>1</sup>, 有本 麻耶<sup>1</sup>, 牧野 雄樹<sup>3</sup>, 百々 義廣<sup>1</sup>  
倉敷中央病院 放射線科<sup>1</sup>, 倉敷中央病院 病理検査科<sup>2</sup>, 倉敷中央病院 泌尿器科<sup>3</sup>

### O-56 前立腺の癌肉腫の一例

池内 高志<sup>1</sup>, 小山 貴<sup>1</sup>, 藤本 晃司<sup>1</sup>, 千菊 敦士<sup>2</sup>, 賀本 敏行<sup>2</sup>  
吉村 耕治<sup>2</sup>, 小川 修<sup>2</sup>, 黒澤 学<sup>3</sup>, 三上 芳喜<sup>3</sup>, 富樫かおり<sup>1</sup>  
京都大学医学部 放射線診断科<sup>1</sup>, 京都大学医学部 泌尿器科<sup>2</sup>, 京都大学医学部 病理部<sup>3</sup>

## 口 演（6月7日）

### O-57 精索の炎症性偽腫瘍の1例

海東 恵子<sup>1</sup>, 野畠 浩司<sup>1</sup>, 角田 清志<sup>1</sup>, 西嶋 博司<sup>1</sup>, 江川 雅之<sup>2</sup>  
新倉 晋<sup>2</sup>, 福田 護<sup>2</sup>, 三崎 俊光<sup>2</sup>, 寺畑信太郎<sup>3</sup>, 杉口 俊<sup>3</sup>  
市立砺波総合病院 放射線科<sup>1</sup>, 市立砺波総合病院 泌尿器科<sup>2</sup>, 市立砺波総合病院 臨床病理科<sup>3</sup>

## 15:20～16:08 セッション11. 後腹膜その他 (6題)

座 長 赤羽 正章 (東京大学医学部 放射線科)  
コメンテーター 石田 剛 (国立精神・神経センター 国府台病院 臨床検査部)

### O-58 長期経過観察中、後腹膜高分化脂肪肉腫に脱分化型脂肪肉腫を生じた一例

高橋 亜希<sup>1</sup>, 高濱 潤子<sup>2</sup>, 丸上 永晃<sup>2</sup>, 伊藤 高広<sup>2</sup>, 武輪 恵<sup>2</sup>  
北野 悟<sup>2</sup>, 日高 晶子<sup>1</sup>, 阪口 浩<sup>1</sup>, 吉川 公彦<sup>2</sup>  
奈良県立三室病院 放射線科<sup>1</sup>, 奈良県立医科大学 放射線科<sup>2</sup>

### O-59 後腹膜原発の平滑筋腫の1例

井上 快児<sup>1</sup>, 小澤 栄人<sup>1</sup>, 岡田 吉隆<sup>1</sup>, 小山 勇<sup>2</sup>  
村田 晋一<sup>3</sup>, 本杉宇太郎<sup>3</sup>, 木村 文子<sup>1</sup>  
埼玉医科大学国際医療センター 画像診断科<sup>1</sup>, 埼玉医科大学国際医療センター 消化器外科<sup>2</sup>  
埼玉医科大学国際医療センター 病理診断科<sup>3</sup>

### O-60 腹部に発生した骨外性骨肉腫の一例

松林 (名本) 路花<sup>1</sup>, 安森弘太郎<sup>1</sup>, 村中 光<sup>1,2</sup>, 池尻 公二<sup>3</sup>, 上杉 憲子<sup>4</sup>  
国立病院機構九州医療センター 放射線科<sup>1</sup>, 国立病院機構九州医療センター 臨床研究部<sup>2</sup>  
国立病院機構九州医療センター 外科<sup>3</sup>, 国立病院機構九州医療センター 病理<sup>4</sup>

### O-61 後腹膜に発生した Follicular dendritic cell sarcoma の1例

久野 博文<sup>1</sup>, 小林 達伺<sup>1</sup>, 三重野浩朗<sup>2</sup>, 中郡 聡夫<sup>2</sup>  
小嶋 基寛<sup>3</sup>, 岩田 良子<sup>1</sup>, 林 孝行<sup>1</sup>, 佐竹 光夫<sup>1</sup>  
国立がんセンター東病院 放射線部<sup>1</sup>, 国立がんセンター東病院 上腹部外科<sup>2</sup>  
国立がんセンター東病院 臨床腫瘍病理部<sup>3</sup>

### O-62 腎癌からの転移と術前の鑑別診断が困難であった悪性末梢神経鞘腫の一例

宮寄 俊幸<sup>1</sup>, 前原 史明<sup>1</sup>, 浅山 縁<sup>2</sup>, 大河原 進<sup>3</sup>, 薬師寺俊剛<sup>4</sup>  
荒尾市民病院 放射線科<sup>1</sup>, 荒尾市民病院 泌尿器科<sup>2</sup>  
荒尾市民病院 臨床病理<sup>3</sup>, 熊本大学病院 整形外科<sup>4</sup>

### O-63 外陰部 angiomatofibroma の1例

三森 天人<sup>1</sup>, 兵頭 剛<sup>1</sup>, 松原伸一郎<sup>1</sup>, 小高 晃嗣<sup>2</sup>  
赤松 信雄<sup>2</sup>, 藤澤 真義<sup>3</sup>, 上者 郁夫<sup>4</sup>, 金澤 右<sup>5</sup>  
姫路赤十字病院 放射線科<sup>1</sup>, 姫路赤十字病院 産婦人科<sup>2</sup>, 姫路赤十字病院 病理<sup>3</sup>  
岡山大学医学部 保健学科<sup>4</sup>, 岡山大学医学部 放射線科<sup>5</sup>

## 16:08 ～ 閉会の辞

当番世話人 南 学 (筑波大学 臨床医学系・放射線医学)

## 展 示

### 肝 臓

#### P-1 肉腫様胆管細胞癌の一例

臼杵 則朗<sup>1</sup>, 豊島 正実<sup>1</sup>, 勝山 栄治<sup>2</sup>

神戸市立医療センター西市民病院 放射線科<sup>1</sup>, 神戸市立医療センター西市民病院 臨床病理<sup>2</sup>

#### P-2 胆管細胞癌に多発肝膿瘍が併発した 1 例

廣川 直樹<sup>1</sup>, 斉藤 正人<sup>1</sup>, 荒谷 和紀<sup>1</sup>, 佐藤 大志<sup>1</sup>

山 直也<sup>1</sup>, 晴山 雅人<sup>1</sup>, 永山 稔<sup>2</sup>, 木村 康利<sup>2</sup>

札幌医科大学医学部 放射線科<sup>1</sup>, 札幌医科大学医学部 第 1 外科<sup>2</sup>

#### P-3 成人肝未分化肉腫の一例

宮田 景子<sup>1</sup>, 名本 路花<sup>1</sup>, 村中 光<sup>2</sup>, 安森弘太郎<sup>1</sup>, 桃崎 征也<sup>4</sup>, 高見 裕子<sup>3</sup>

独立行政法人国立病院機構九州医療センター 臨床研究部放射線科<sup>1</sup>

独立行政法人国立病院機構九州医療センター 臨床研究部<sup>2</sup>

独立行政法人国立病院機構九州医療センター 外科<sup>3</sup>

独立行政法人国立病院機構九州医療センター 病理部<sup>4</sup>

#### P-4 肝偽リンパ腫の一例

伊牟田真功<sup>1</sup>, 宮本 久督<sup>1</sup>, 山下 康行<sup>1</sup>, 田中 洋<sup>2</sup>

別府 透<sup>2</sup>, 馬場 秀夫<sup>2</sup>, 猪山 賢一<sup>3</sup>

熊本大学医学部 画像診断・治療科<sup>1</sup>, 熊本大学医学部 消化器外科<sup>2</sup>, 熊本大学医学部 病理部<sup>3</sup>

#### P-5 SLE に合併した肝結節性再生性過形成 (nodular regenerative hyperplasia) の一例

外山 哲也<sup>1</sup>, 山本 敦子<sup>1</sup>, 若宮 誠<sup>1</sup>, 河野 直明<sup>1</sup>, 金崎 周造<sup>1</sup>, 田中 豊彦<sup>1</sup>

古川 顕<sup>1</sup>, 高橋 雅士<sup>1</sup>, 村田喜代史<sup>1</sup>, 石田 光明<sup>2</sup>, 九嶋 亮治<sup>2</sup>

滋賀医科大学 放射線科<sup>1</sup>, 滋賀医科大学 病院病理<sup>2</sup>

#### P-6 肝紫斑病 (Peliosis hepatis) の 1 例

遠田 譲

東京女子医科大学八千代医療センター 画像診断・IVR 科

### 胆道・胆嚢

#### P-7 17 歳で発症した肝門部胆管癌の 1 例

北詰 良雄<sup>1</sup>, 杉崎 勝好<sup>2</sup>, 伊藤 栄作<sup>3</sup>, 田浦 新一<sup>1</sup>, 佐藤 史郎<sup>1</sup>

青梅市立総合病院 放射線科<sup>1</sup>, 青梅市立総合病院 化学療法科<sup>2</sup>, 青梅市立総合病院 病理科<sup>3</sup>

#### P-8 エコーで充実成分を認めた ciliated foregut cyst の一例

秋元 達也, 渡辺 佳明, 松浦 克彦, 田中 修

自治医科大学附属さいたま医療センター 放射線科

## P-9 抗凝固療法中に発症した胆嚢出血の一例

門澤 秀一<sup>1</sup>, 鷺尾 哲郎<sup>2</sup>, 塚本 正樹<sup>2</sup>, 名生 諭史<sup>3</sup>  
明石市立市民病院 放射線科<sup>1</sup>, 明石市立市民病院 循環器科<sup>2</sup>, 明石市立市民病院 消化器科<sup>3</sup>

## P-10 腹部造影 CT で診断し得た未破裂胆嚢仮性動脈瘤の二例

町田 治彦<sup>1</sup>, 上野 恵子<sup>1</sup>, 塩沢 俊一<sup>2</sup>, 藤村 幹彦<sup>1</sup>, 鈴木 一史<sup>1</sup>  
森田 賢<sup>1</sup>, 土屋 彬<sup>2</sup>, 金 達浩<sup>2</sup>, 小川 健二<sup>2</sup>, 田中 勝<sup>3</sup>  
東京女子医科大学東医療センター 放射線科<sup>1</sup>, 東京女子医科大学東医療センター 外科<sup>2</sup>  
東京女子医科大学東医療センター 皮膚科<sup>3</sup>

## P-11 閉塞性黄疸の原因として臨床的に結核性リンパ節炎が強く疑われた一例

大森 智子<sup>1</sup>, 瀧川 政和<sup>1</sup>, 北野 雅史<sup>1</sup>, 三富 弘之<sup>2</sup>  
金田 悟郎<sup>3</sup>, 大沼雄一郎<sup>6</sup>, 佐々木真弓<sup>5</sup>, 磯部 義憲<sup>4</sup>  
国立病院機構相模原病院 放射線科<sup>1</sup>, 国立病院機構相模原病院 病理<sup>2</sup>  
国立病院機構相模原病院 外科<sup>3</sup>, 国立病院機構東京医療センター 放射線科<sup>4</sup>  
至誠会第二病院 放射線科<sup>5</sup>, 北里大学病院 放射線科<sup>6</sup>

## P-12 肝腫瘍と鑑別を要した肝外傍神経節腫の 1 例

安賀 文俊<sup>1</sup>, 有本 博<sup>1</sup>, 結城 雅子<sup>2</sup>, 板橋 司<sup>3</sup>, 林 道廣<sup>4</sup>, 竹下 篤<sup>5</sup>  
北摂総合病院 放射線科<sup>1</sup>, 大阪医科大学 放射線医学教室<sup>2</sup>, 北摂総合病院 消化器内科<sup>3</sup>  
大阪医科大学 一般・消化器外科<sup>4</sup>, 大阪医科大学 第一病理学教室<sup>5</sup>

---

## 脾臓・脾臓

## P-13 脾管内管状腫瘍 2 例の画像所見

石神 康生<sup>1</sup>, 吉満 研吾<sup>1</sup>, 入江 裕之<sup>1</sup>, 田嶋 強<sup>1</sup>, 西江 昭弘<sup>1</sup>, 平川 雅和<sup>1</sup>  
牛島 泰宏<sup>1</sup>, 岡本 大佑<sup>1</sup>, 本田 浩<sup>1</sup>, 山口 幸二<sup>2</sup>, 長田 盛典<sup>3</sup>  
九州大学大学院医学研究院 臨床放射線科学<sup>1</sup>, 九州大学大学院医学研究院 臨床・腫瘍外科学<sup>2</sup>  
九州大学大学院医学研究院 形態機能病理学<sup>3</sup>

## P-14 脾粘液癌の 1 例

田辺 昌寛, 清水 文め, 藤田 岳史, 松永 尚文  
山口大学医学部 放射線科

## P-15 主脾管との交通を有したため術前診断が困難であった脾内分泌腫瘍の一例

香川 祐毅, 桑原 雅知, 柳生 行伸, 下野 太郎  
勝部 敬, 岡田 真広, 細野 眞, 村上 卓道  
近畿大学医学部 放射線医学教室診断学部門

## P-16 脾 solid pseudopapillary tumor の一例

武智 恵, 吉岡 真二, 浦島 雄介, 村田 繁利  
松山赤十字病院 放射線科

#### **P-17** 脾に発生した perivascular epithelioid cell tumor (PEComa) の一例

山下 智裕<sup>1</sup>, 平林 健一<sup>2</sup>, 長村 義之<sup>2</sup>, 堂脇 昌一<sup>3</sup>  
今泉 俊秀<sup>3</sup>, 市川 珠紀<sup>1</sup>, 川田 秀一<sup>1</sup>, 今井 裕<sup>1</sup>

東海大学医学部 基盤診療学系画像診断学<sup>1</sup>, 東海大学医学部 基盤診療学系病理診断学<sup>2</sup>  
東海大学医学部 外科学系消化器外科学<sup>3</sup>

#### **P-18** MRI および MRCP が診断に有用であった十二指腸迷入脾を伴う IPMT の 1 例

広川 侑奨, 磯田 裕義, 前谷 洋爾, 有薊 茂樹  
嶋田功太郎, 柴田登志也, 富樫かおり  
京都大学医学部 放射線診断科

#### **P-19** Squamoid cyst of pancreatic ducts の一例

進藤 俊和<sup>1</sup>, 福倉 良彦<sup>1</sup>, 神山 拓郎<sup>1</sup>, 東 龍太郎<sup>1</sup>, 内匠 浩二<sup>1</sup>, 中條 政敬<sup>1</sup>  
新地 洋之<sup>2</sup>, 又木 雄弘<sup>2</sup>, 蔵原 弘<sup>2</sup>, 恵 浩一<sup>2</sup>, 夏越 祥次<sup>2</sup>, 東 美智子<sup>3</sup>  
鹿児島大学医学部 放射線科<sup>1</sup>, 鹿児島大学医学部 消化器外科<sup>2</sup>, 鹿児島大学医学部 病理学<sup>3</sup>

#### **P-20** 小腸間膜病変を合併した自己免疫性膵炎の 2 例

高司由理子<sup>1</sup>, 山田 康成<sup>2</sup>, 松本 俊郎<sup>2</sup>, 高司 亮<sup>2</sup>  
森 宣<sup>2</sup>, 泥谷 直樹<sup>3</sup>, 守山 正胤<sup>3</sup>  
大分東部病院 放射線科<sup>1</sup>, 大分大学医学部 腫瘍病態制御講座 (放射線医学)<sup>2</sup>  
大分大学医学部 免疫アレルギー統御講座 (病理学第二)<sup>3</sup>

#### **P-21** 上腸間膜動脈及び腸骨動脈周囲軟部腫瘤を形成した IgG4 関連疾患の一例

井上 大<sup>1</sup>, 蒲田 敏文<sup>1</sup>, 松井 修<sup>1</sup>, 川野 充弘<sup>2</sup>, 全 陽<sup>3</sup>, 長東 秀一<sup>4</sup>  
金沢大学医学部附属病院 放射線科<sup>1</sup>, 金沢大学医学部附属病院 リウマチ内科<sup>2</sup>  
金沢大学医学部附属病院 病理部<sup>3</sup>, 金沢社会保険病院 放射線科<sup>4</sup>

#### **P-22** 脾性胸水の一例

井本 勝治<sup>1</sup>, 山崎 道夫<sup>1</sup>, 坂本 力<sup>1</sup>, 田崎 和仁<sup>2</sup>  
田中 豊彦<sup>3</sup>, 古川 顕<sup>3</sup>, 村田喜代史<sup>3</sup>  
公立甲賀病院 放射線科<sup>1</sup>, 公立甲賀病院 内科<sup>2</sup>, 滋賀医科大学 放射線科<sup>3</sup>

#### **P-23** 脾 Castleman 病の 1 例

松崎 健司<sup>1</sup>, 竹内麻由美<sup>1</sup>, 西谷 弘<sup>1</sup>, 吉田 卓弘<sup>2</sup>  
梅本 淳<sup>2</sup>, 田代 敬<sup>3</sup>, 佐野 暢哉<sup>3</sup>  
徳島大学医学部 放射線科<sup>1</sup>, 徳島大学医学部 第二外科<sup>2</sup>, 徳島大学医学部 病理部<sup>3</sup>

#### **P-24** 脾摘後患者に認められた後腹膜副脾の 1 例

又吉 隆<sup>1</sup>, 吉長 正富<sup>1</sup>, 足立 源樹<sup>1</sup>, 島袋 國定<sup>1</sup>  
知名 孝明<sup>1</sup>, 呉屋 真人<sup>2</sup>, 山城 清治<sup>2</sup>  
那覇市立病院 放射線科<sup>1</sup>, 那覇市立病院 泌尿器科<sup>2</sup>

## 消化管・腸間膜・腹腔

### P-25 粘膜下腫瘍様の形態を呈した異所性胃腺管から発生した進行胃癌の1例

亀井 誠二<sup>1</sup>, 勝田 英介<sup>1</sup>, 北川 晃<sup>1</sup>, 泉 雄一郎<sup>1</sup>, 石口 恒男<sup>1</sup>  
 川井 祐輔<sup>2</sup>, 佐藤 顕<sup>2</sup>, 十倉 佳史<sup>2</sup>, 春日井邦夫<sup>2</sup>, 中尾 野生<sup>3</sup>  
 有川 卓<sup>3</sup>, 黒川 剛<sup>3</sup>, 野浪 敏明<sup>3</sup>, 岩淵 英人<sup>4</sup>, 原 一夫<sup>4</sup>  
 愛知医科大学 放射線科<sup>1</sup>, 愛知医科大学 消化器内科<sup>2</sup>  
 愛知医科大学 消化器外科<sup>3</sup>, 愛知医科大学 病院病理部<sup>4</sup>

### P-26 腸重積で発症した回腸バーキットリンパ腫の1例

川田 秀一<sup>1</sup>, 桜田 愛音<sup>1</sup>, 市川 珠紀<sup>1</sup>, 山下 智裕<sup>1</sup>  
 小泉 淳<sup>1</sup>, 貞廣 莊太郎<sup>2</sup>, 中村 直哉<sup>3</sup>, 今井 裕<sup>1</sup>  
 東海大学基盤診療系 画像診断学<sup>1</sup>, 東海大学外科系 消化器外科学<sup>2</sup>  
 東海大学基盤診療学系 病理診断学<sup>3</sup>

### P-27 静脈硬化性大腸炎の一例

辻 聖佳<sup>1</sup>, 山岡 利成<sup>1</sup>, 木戸 晶<sup>1</sup>, 日下 利広<sup>2</sup>, 濱田 暁彦<sup>2</sup>, 藤本 正数<sup>3</sup>  
 京都桂病院 放射線科<sup>1</sup>, 京都桂病院消化器センター 内科<sup>2</sup>, 京都桂病院 病理科<sup>3</sup>

### P-28 静脈硬化性腸炎の3次元CT像

磯貝 純<sup>1</sup>, 兼子 順<sup>2</sup>, 佐口 盛人<sup>2</sup>, 前島 静顕<sup>2</sup>  
 蓮田病院 放射線科<sup>1</sup>, 蓮田病院 外科<sup>2</sup>

### P-29 劇症型アメーバ性大腸炎の3例

山本 亨<sup>1</sup>, 杉盛 夏樹<sup>1</sup>, 米田 憲秀<sup>1</sup>, 吉川 淳<sup>1</sup>  
 海崎 泰治<sup>2</sup>, 道傳 研司<sup>3</sup>, 服部 昌和<sup>3</sup>  
 福井県立病院 放射線科<sup>1</sup>, 福井県立病院 臨床病理<sup>2</sup>, 福井県立病院 外科<sup>3</sup>

### P-30 腫瘍内出血にて発見された小網内変性神経鞘腫の1例

林 完勇<sup>1</sup>, 馬場 康貴<sup>1</sup>, 瀬之口輝寿<sup>1</sup>, 上野 和人<sup>1</sup>, 中條 政敬<sup>1</sup>  
 菰方 輝夫<sup>2</sup>, 海江田 衛<sup>2</sup>, 大山 宋人<sup>2</sup>, 坂田 隆造<sup>2</sup>, 田口 周平<sup>3</sup>  
 鹿児島大学医学部 放射線科<sup>1</sup>, 鹿児島大学医学部 消化器外科<sup>2</sup>, 鹿児島大学医学部 腫瘍制御学講座<sup>3</sup>

### P-31 成人にて再発した腸間膜リンパ管腫の1例

芝 奈津子<sup>1</sup>, 伊崎 健太<sup>1</sup>, 前田 哲雄<sup>1</sup>, 藤井 正彦<sup>1</sup>, 杉村 和朗<sup>1</sup>  
 矢野 嘉彦<sup>2</sup>, 金 英植<sup>3</sup>, 黒田 嘉和<sup>3</sup>, 榎木 英介<sup>4</sup>, 横崎 宏<sup>4</sup>  
 神戸大学医学部 放射線科<sup>1</sup>, 神戸大学医学部 消化器内科<sup>2</sup>  
 神戸大学医学部 食道胃腸外科<sup>3</sup>, 神戸大学医学部 病理部<sup>4</sup>

### P-32 食道裂孔ヘルニアを契機として発症したと考えられる、左後縦隔胸腔血腫の一例

小林真紀子<sup>1</sup>, 岩田 美郎<sup>1</sup>, 齋藤 緑<sup>1</sup>, 今井 裕<sup>2</sup>  
 三朝 博仁<sup>3</sup>, 石井 正紀<sup>3</sup>, 伊東 功<sup>3</sup>, 大谷 泰雄<sup>3</sup>  
 東海大学医学部附属大磯病院 基盤診療学系画像診断学<sup>1</sup>  
 東海大学医学部附属病院 基盤診療学系画像診断学<sup>2</sup>  
 東海大学医学部附属大磯病院 外科学系消化器外科学<sup>3</sup>

**P-33 術前診断に苦慮した原発性腹膜嚢胞腺癌の一例**

小山 孝一, 瀬浦 宏崇, 濱澤 良将, 西田 典史, 井上 佑一  
大阪市立大学医学部 放射線科

**P-34 癌性腹膜炎における消化管原発巣同定に, MRI 拡散強調画像が有用であった 2 例**

三船 啓文<sup>1</sup>, 花田喜美香<sup>1</sup>, 岡野 信明<sup>2</sup>, 辰川 匡史<sup>2</sup>, 金澤 右<sup>3</sup>  
尾道市立市民病院 放射線科<sup>1</sup>, 尾道市立市民病院 消化器科<sup>2</sup>, 岡山大学医学部 放射線科<sup>3</sup>

**P-35 腹部悪性神経鞘腫を合併した神経線維腫症 1 型の一例 ～診断からマネジメント～**

伊東 伸剛<sup>1</sup>, 成松 芳明<sup>1</sup>, 長谷川市郎<sup>2</sup>, 佐藤 宏朗<sup>1</sup>, 中玉利葉月<sup>1</sup>  
掛札 敏裕<sup>2</sup>, 和田 真弘<sup>2</sup>, 山口るつ子<sup>2</sup>, 杉浦 仁<sup>3</sup>  
川崎市立川崎病院 放射線診断科<sup>1</sup>, 川崎市立川崎病院 外科<sup>2</sup>, 川崎市立川崎病院 検査科病理<sup>3</sup>

---

## 子 宮

---

**P-36 腎嚢胞様の後腹膜転移巣を形成し診断に苦慮した子宮 ESS の一例**

越智 純子<sup>1</sup>, 山本 憲<sup>1</sup>, 早川 克己<sup>1</sup>, 浦田 洋二<sup>2</sup>  
京都市立病院 放射線科<sup>1</sup>, 京都市立病院 臨床病理科<sup>2</sup>

**P-37 子宮筋腫赤色変性様の MRI 所見を呈した子宮平滑筋肉腫の 1 例**

竹田 太郎<sup>1</sup>, 川原 清哉<sup>1</sup>, 山田 篤史<sup>1</sup>, 高橋 孝博<sup>1</sup>, 小倉 昌和<sup>1</sup>  
濱中大三郎<sup>1</sup>, 左合 直<sup>1</sup>, 奥田亜紀子<sup>2</sup>, 小西二三男<sup>3</sup>  
福井赤十字病院 放射線科<sup>1</sup>, 福井赤十字病院 産婦人科<sup>2</sup>, 福井赤十字病院 病理部<sup>3</sup>

**P-38 leiomyosarcoma の破裂の一例**

木根淵裕子<sup>1</sup>, 佐藤 秀一<sup>2</sup>, 林 高樹<sup>1</sup>, 竹山 信之<sup>1</sup>, 北原 規<sup>1</sup>, 増永 敦子<sup>3</sup>  
昭和大学藤が丘病院 放射線科<sup>1</sup>, 旭中央病院<sup>2</sup>, 昭和大学藤が丘病院 病院病理科<sup>3</sup>

**P-39 閉経後の非妊娠性絨毛癌の 1 例**

曹 博信, 佐野 勝廣, 市川 智章, 荒木 力  
山梨大学医学部 放射線科

**P-40 子宮の atypical polypoid adenomyoma の一例**

扇谷 芳光<sup>1</sup>, 河原 正明<sup>1</sup>, 西城 誠<sup>1</sup>, 須山 淳平<sup>1</sup>, 清野 哲孝<sup>1</sup>, 廣瀬 正典<sup>1</sup>  
橋本 東児<sup>1</sup>, 後閑 武彦<sup>1</sup>, 長塚 正晃<sup>2</sup>, 岡井 崇<sup>2</sup>, 秋田 英貴<sup>3</sup>, 九島 巳樹<sup>3</sup>  
昭和大学医学部 放射線医学教室<sup>1</sup>, 昭和大学医学部 産科婦人科学教室<sup>2</sup>, 昭和大学病院 病院病理科<sup>3</sup>

**P-41 術前診断に難渋した子宮腺筋症の 1 症例**

塩見 英佑<sup>1</sup>, 小川 健二<sup>1</sup>, 升田 博隆<sup>2</sup>, 青木 類<sup>2</sup>  
上野 彰久<sup>3</sup>, 山田 祥岳<sup>3</sup>, 酢谷 真也<sup>3</sup>, 栗林 幸夫<sup>3</sup>  
日本鋼管病院 放射線科<sup>1</sup>, 日本鋼管病院 産婦人科<sup>2</sup>, 慶應義塾大学病院 放射線診断科<sup>3</sup>

## 展 示

### P-42 子宮筋腫術後に発見された良性転移性平滑筋腫の 1 例

中玉利葉月<sup>1</sup>, 佐藤 宏朗<sup>1</sup>, 長谷川市郎<sup>1</sup>, 伊東 伸剛<sup>1</sup>

成松 芳明<sup>1</sup>, 杉浦 仁<sup>2</sup>, 中島 隆裕<sup>3</sup>

川崎市立川崎病院 放射線診断科<sup>1</sup>, 川崎市立川崎病院 検査科病理<sup>2</sup>, 川崎市立川崎病院 呼吸器内科<sup>3</sup>

### P-43 子宮内膜間質結節の一例

藤井 進也<sup>1</sup>, 柿手 卓<sup>1</sup>, 金崎 佳子<sup>1</sup>, 小川 敏英<sup>1</sup>, 佐藤 誠也<sup>2</sup>, 寺川 直樹<sup>2</sup>

鳥取大学医学部 病態解析医学講座医用放射線学分野<sup>1</sup>, 鳥取大学医学部 女性診療科<sup>2</sup>

## 卵 巢

### P-44 著明な粘液腫様変性を認めた卵巢未分化杯細胞腫の 1 例

津布久雅彦<sup>1</sup>, 丸山 正統<sup>2</sup>, 大野 秀夫<sup>2</sup>, 稲葉 明美<sup>2</sup>, 清水 道生<sup>3, 5</sup>

佐藤 英章<sup>3, 6</sup>, 鈴木 君義<sup>4</sup>, 大久保昭治<sup>4</sup>, 船津 靖亮<sup>4</sup>, 温井 奈美<sup>4</sup>

丸山記念総合病院 放射線科<sup>1</sup>, 丸山記念総合病院 産婦人科<sup>2</sup>, 丸山記念総合病院 病理科<sup>3</sup>

正和ラボラトリー<sup>4</sup>, 埼玉医科大学国際医療センター 病理診断科<sup>5</sup>, 済生会川口総合病院 病理科<sup>6</sup>

### P-45 卵巢原発悪性リンパ腫の一例

高濱 潤子, 丸上 永晃, 武輪 恵, 伊藤 高弘, 北野 悟, 吉川 公彦

奈良県立医科大学 放射線科

### P-46 悪性黒色腫への転化をきたした卵巢成熟嚢胞奇形腫の 1 例

杉原 良<sup>1</sup>, 前田 哲雄<sup>1</sup>, 杉村 和朗<sup>1</sup>, 杉本 誠<sup>2</sup>

濱名 伸也<sup>2</sup>, 丸尾 猛<sup>2, 3</sup>, 鹿股 直樹<sup>3</sup>

神戸大学医学部 放射線科<sup>1</sup>, 神戸大学医学部 産婦人科<sup>2</sup>, 神戸大学医学部 病理部<sup>3</sup>

### P-47 T2 強調画像で淡い高信号を呈した卵巢 fibrothecoma の一例

雫石 崇<sup>1</sup>, 田中 宏<sup>1</sup>, 古橋 哲<sup>1</sup>, 福島 祥子<sup>1</sup>

吉信 尚<sup>1</sup>, 高橋元一郎<sup>1</sup>, 絹川 典子<sup>2</sup>

駿河台日本大学病院 放射線科<sup>1</sup>, 駿河台日本大学病院 病理部<sup>2</sup>

## 腎 臓

### P-48 著明な変性を来とし、画像上巨視的脂肪を伴った腎細胞癌の一例

山城 正司<sup>1</sup>, 重成 憲爾<sup>1</sup>, 森永 郷子<sup>1</sup>, 油野 裕之<sup>1</sup>, 奥田 実穂<sup>1</sup>

小松 哲也<sup>1</sup>, 宮山 士朗<sup>1</sup>, 菅田 敏明<sup>2</sup>, 須藤 嘉子<sup>3</sup>

福井県済生会病院 放射線科<sup>1</sup>, 福井県済生会病院 泌尿器科<sup>2</sup>, 福井県済生会病院 病理診断部<sup>3</sup>

### P-49 著明な壊死と多血性充実部分を認めた巨大な papillary RCC (eosinophilic type) の一例

丸上 永晃<sup>1</sup>, 北野 悟<sup>2</sup>, 廣橋 伸治<sup>3</sup>, 高濱 潤子<sup>2</sup>

武輪 恵<sup>2</sup>, 伊藤 高広<sup>2</sup>, 吉川 公彦<sup>2</sup>

奈良県立医科大学 中央内視鏡・超音波部<sup>1</sup>, 奈良県立医科大学 放射線科<sup>2</sup>, 大阪暁明館病院 放射線科<sup>3</sup>

**P-50 急速な進行を呈した肉腫様型腎細胞癌の一例**

兵頭 朋子, 津田 孝治, 菅原 敬文, 村上 正哲, 平田 雅昭, 望月 輝一  
愛媛大学医学部 放射線科

**P-51 腎原発カルチノイドと考えられた 1 例**

阿保 齊<sup>1</sup>, 小林 未来<sup>1</sup>, 新村理絵子<sup>1</sup>, 出町 洋<sup>1</sup>, 上野 悟<sup>2</sup>  
長坂 康弘<sup>2</sup>, 瀬戸 親<sup>2</sup>, 内山 明央<sup>3</sup>, 三輪 淳夫<sup>3</sup>  
富山県立中央病院 放射線科<sup>1</sup>, 富山県立中央病院 泌尿器科<sup>2</sup>, 富山県立中央病院 臨床病理科<sup>3</sup>

**P-52 長期透析患者に両腎にオンコサイトーマが多発した 1 例**

河野 真理<sup>1</sup>, 桑鶴 良平<sup>1</sup>, 早野 敏郎<sup>1</sup>, 三橋 紀夫<sup>1</sup>, 田邊 一成<sup>2</sup>, 山口 裕<sup>3</sup>  
東京女子医科大学 放射線医学教室<sup>1</sup>, 東京女子医科大学 泌尿器科<sup>2</sup>, 東京女子医科大学 腎臓小児科<sup>3</sup>

**P-53 下大静脈腫瘍塞栓を合併した腎血管筋脂肪腫の 1 例**

筒井 伸<sup>1</sup>, 磯本 一郎<sup>1</sup>, 牧野 謙二<sup>1</sup>, 末吉 英純<sup>1</sup>, 上谷 雅孝<sup>1</sup>  
池田智恵子<sup>2</sup>, 錦戸 雅春<sup>2</sup>, 安倍 邦子<sup>3</sup>, 林 徳真吉<sup>3</sup>  
長崎大学病院 放射線科<sup>1</sup>, 長崎大学病院 泌尿器科<sup>2</sup>, 長崎大学病院 病理部<sup>3</sup>

**P-54 renal angiomyolipoma with invisible fat component の 2 例**

広村 忠雄<sup>1</sup>, 佐藤 昌明<sup>2</sup>  
NTT 東日本札幌病院 放射線科<sup>1</sup>, NTT 東日本札幌病院 病理検査科<sup>2</sup>

**P-55 左腎被膜から発生したと思われる PEComas の一例**

山口健一郎<sup>1</sup>, 杉村 宏<sup>1</sup>, 落合 竜三<sup>1</sup>, 古小路英二<sup>1</sup>, 榮 建文<sup>1</sup>, 田村 正三<sup>1</sup>  
別納 弘法<sup>2</sup>, 濱砂 良一<sup>2</sup>, 上別府豊治<sup>2</sup>, 向井尚一郎<sup>3</sup>, 秋山 裕<sup>3</sup>  
宮崎大学医学部 病態解析医学講座放射線医学分野<sup>1</sup>, 宮崎大学医学部 外科学講座泌尿器科学分野<sup>2</sup>  
宮崎大学医学部 病理学講座腫瘍・再生病態学分野<sup>3</sup>

**P-56 左腎盂十二指腸瘻の 1 例**

熊副 洋幸<sup>1</sup>, 中園 貴彦<sup>2</sup>, 蒲地 紀之<sup>2, 4</sup>, 入江 裕之<sup>2</sup>  
工藤 祥<sup>2</sup>, 有働 和馬<sup>3</sup>, 魚住 二郎<sup>3</sup>  
国立病院機構大牟田病院 放射線科<sup>1</sup>, 佐賀大学医学部 放射線科<sup>2</sup>  
佐賀大学医学部 泌尿器科<sup>3</sup>, 佐賀大学医学部 病理部<sup>4</sup>

---

## その他の泌尿器・生殖器

---

**P-57 MRI にて脂肪成分の混在が確認された副腎癌の一例**

小坂 哲也<sup>1</sup>, 山田 晴耕<sup>1</sup>, 高橋 正道<sup>1</sup>, 渡辺 淳也<sup>1</sup>  
大久保敏之<sup>1</sup>, 片上 秀喜<sup>2</sup>, 小島 聡子<sup>3</sup>, 石田 康生<sup>4</sup>  
帝京大学ちば総合医療センター 放射線科<sup>1</sup>, 帝京大学ちば総合医療センター 第三内科<sup>2</sup>  
帝京大学ちば総合医療センター 泌尿器科<sup>3</sup>, 帝京大学ちば総合医療センター 病理部<sup>4</sup>

## P-58 副腎 ganglioneuroma の一例

吉田 慶之<sup>1</sup>, 黒木 嘉典<sup>1</sup>, 山邊裕一郎<sup>1</sup>, 山本 孝信<sup>1</sup>, 関口 隆三<sup>1</sup>, 五十嵐誠治<sup>2</sup>  
 栃木県立がんセンター 画像診断部<sup>1</sup>, 栃木県立がんセンター 病理<sup>2</sup>

## P-59 前立腺小細胞癌の一例

伊藤 康志<sup>1</sup>, 村田 昌之<sup>1</sup>, 小山 光博<sup>1</sup>, 藤見 克之<sup>1</sup>, 川田 豊<sup>1</sup>  
 杉原 英治<sup>1</sup>, 柏木 伸夫<sup>1</sup>, 高島庄太夫<sup>1</sup>, 西澤 恭子<sup>2</sup>  
 大阪府立成人病センター 放射線診断科<sup>1</sup>, 大阪府立成人病センター 研究所 病理学部門<sup>2</sup>

## P-60 前立腺癌肉腫の 1 例

中林 美日<sup>1</sup>, 村蒔 基次<sup>2</sup>, 藤澤 正人<sup>2</sup>, 鹿股 直樹<sup>3</sup>  
 神戸大学医学部 放射線科<sup>1</sup>, 神戸大学医学部 泌尿器科<sup>2</sup>, 神戸大学医学部 病理部<sup>3</sup>

## P-61 急性腹症で発症した停留精巣発生 Seminoma の一例

一ノ瀬嘉明<sup>1</sup>, 梅岡 成章<sup>1</sup>, 栗原 研輔<sup>1</sup>, 中谷 航也<sup>1</sup>  
 坂本 匡人<sup>1</sup>, 赤井 幹夫<sup>1</sup>, 筒井 一成<sup>1</sup>, 小野 一雄<sup>2</sup>  
 日本赤十字社和歌山医療センター 放射線科<sup>1</sup>, 日本赤十字社和歌山医療センター 病理部<sup>2</sup>

## P-62 骨盤悪性リンパ腫により持続勃起症を呈した一例

小林 愛<sup>1</sup>, 吉廻 毅<sup>1</sup>, 山本 伸子<sup>1</sup>, 土江 洋二<sup>1</sup>, 林 貴史<sup>1</sup>  
 中村 恩<sup>1</sup>, 岡田 成人<sup>1</sup>, 和田 昭彦<sup>1</sup>, 北垣 一<sup>1</sup>, 丸山理留敬<sup>2</sup>  
 島根大学医学部附属病院 放射線科<sup>1</sup>, 島根大学医学部附属病院 病理部<sup>2</sup>

## P-63 ループス腸炎・膀胱炎の 1 例

西原 礼介<sup>1</sup>, 浦島 正喜<sup>1</sup>, 松浦 明子<sup>1</sup>, 大成 妙<sup>1</sup>, 伊東 淳<sup>1</sup>, 影本 正之<sup>1</sup>  
 小林 沙代<sup>2</sup>, 黒目 学<sup>2</sup>, 別宮 謙介<sup>3</sup>, 山西 裕司<sup>4</sup>, 西原 裕美<sup>5</sup>  
 広島市立広島市民病院 放射線科<sup>1</sup>, 広島市立広島市民病院 内科<sup>2</sup>, 広島市立広島市民病院 泌尿器科<sup>3</sup>  
 広島市立広島市民病院 リウマチ・膠原病科<sup>4</sup>, 聖愛会牛田病院<sup>5</sup>

## 後腹膜その他

## P-64 嚢胞変性を伴った後腹膜巨大 Paraganglioma の 1 例

山田 絢<sup>1</sup>, 有川 俊二<sup>1</sup>, 内田 政史<sup>1</sup>, 久能由記子<sup>1</sup>, 小金丸雅道<sup>1</sup>, 魚住 淳<sup>1</sup>  
 早瀬 尚文<sup>1</sup>, 黒木 淳一<sup>2</sup>, 奥田 康司<sup>3</sup>, 秋葉 純<sup>4</sup>, 品川 正治<sup>5</sup>  
 久留米大学医学部 放射線科<sup>1</sup>, 久留米大学医学部 内科学講座消化器部門<sup>2</sup>, 久留米大学医学部 外科<sup>3</sup>  
 久留米大学医学部 病理<sup>4</sup>, 順天堂大学病院<sup>5</sup>

## P-65 後腹膜由来の solitary fibrous tumor の一例

戸谷 麗子<sup>1</sup>, 佐竹 弘子<sup>1</sup>, 伊藤 茂樹<sup>2</sup>, 深津 博<sup>1</sup>  
 今井 常夫<sup>3</sup>, 島田 聡子<sup>4</sup>, 長縄 慎二<sup>1</sup>  
 名古屋大学医学部 放射線科<sup>1</sup>, 名古屋大学医学部 保健学科<sup>2</sup>  
 名古屋大学医学部 乳腺内分泌外科<sup>3</sup>, 名古屋大学医学部 病理部<sup>4</sup>

**P-66 後腹膜神経原性腫瘍の二例**

櫻井 康雄<sup>1</sup>, 児玉 芳尚<sup>1</sup>, 高橋 邦幸<sup>2</sup>, 潟沼 朗生<sup>2</sup>, 小山内 学<sup>2</sup>  
深澤 光晴<sup>2</sup>, 一箭 珠貴<sup>2</sup>, 土屋 貴愛<sup>2</sup>, 栗田 亮<sup>2</sup>, 真口 宏介<sup>2</sup>  
手稲溪仁会病院 放射線科<sup>1</sup>, 手稲溪仁会病院 消化器病センター<sup>2</sup>

**P-67 後腹膜 myopericytoma と考えられた 1 例**

吉田耕太郎<sup>1</sup>, 松井 修<sup>1</sup>, 蒲田 敏文<sup>1</sup>, 小林 聡<sup>1</sup>, 眞田順一郎<sup>1</sup>, 香田 渉<sup>1</sup>, 南 哲弥<sup>1</sup>  
龍 泰治<sup>1</sup>, 角野 佳史<sup>2</sup>, 藤田 博<sup>2</sup>, 並木 幹夫<sup>2</sup>, 全 陽<sup>3</sup>, 絹谷 清剛<sup>4</sup>  
金沢大学医学部 放射線科<sup>1</sup>, 金沢大学医学部 泌尿器科<sup>2</sup>  
金沢大学医学部附属病院 病理部<sup>3</sup>, 金沢大学医学部 核医学科<sup>4</sup>

**P-68 消化管異物, 魚骨による十二指腸穿通, 後腹膜膿瘍を形成した 1 例**

吉田 理佳<sup>1</sup>, 辻 徹吾<sup>1</sup>, 小山 新吾<sup>1</sup>, 吉儀 淳<sup>1</sup>, 黒沢 治樹<sup>2</sup>, 長堀 薫<sup>2</sup>  
横須賀共済病院 放射線科<sup>1</sup>, 横須賀共済病院 外科<sup>2</sup>

**P-69 性腺外未分化胚細胞腫の 1 例**

柿手 卓<sup>1</sup>, 藤井 進也<sup>1</sup>, 西原 圭祐<sup>1</sup>, 金崎 佳子<sup>1</sup>, 小川 敏英<sup>1</sup>, 浪速 潤<sup>2</sup>  
鳥取大学医学部 病態医学解析講座医用放射線学分野<sup>1</sup>  
鳥取大学医学部 器官制御外科学講座生殖機能医学分野<sup>2</sup>

**P-70 仙骨前部の extraadrenal myelolipoma の 1 症例**

黒川 浩典<sup>1</sup>, 河原 道子<sup>1</sup>, 藤島 護<sup>1</sup>, 林 同哺<sup>2</sup>, 三宅 孝佳<sup>3</sup>  
津山中央病院 放射線科<sup>1</sup>, 津山中央病院 外科<sup>2</sup>, 津山中央病院 病理<sup>3</sup>

**P-71 直腸背側に発生した epidermoid cyst の 2 例**

戸上 泉<sup>1</sup>, 宗田 由子<sup>1</sup>, 長谷川 明<sup>1</sup>, 守都 常晴<sup>1</sup>, 石原 節子<sup>1</sup>  
安井光太郎<sup>1</sup>, 木村 臣一<sup>2</sup>, 赤在 義浩<sup>2</sup>, 能勢聡一郎<sup>3</sup>, 浜家 一雄<sup>3</sup>  
岡山済生会総合病院 放射線科<sup>1</sup>, 岡山済生会総合病院 外科<sup>2</sup>, 岡山済生会総合病院 病理<sup>3</sup>

**P-72 陰囊から会陰部に生じた悪性中皮腫の一例**

渡辺 佳明, 松浦 克彦, 秋元 達也, 田中 修  
自治医科大学附属さいたま医療センター 放射線科

## 展示クイズ企画協力者

|       |                 |
|-------|-----------------|
| 江口 信子 | 土浦協同病院 放射線科     |
| 田中優美子 | 筑波大学臨床医学系 放射線医学 |
| 那須 克宏 | 筑波大学臨床医学系 放射線医学 |
| 国松 聡  | 筑波大学臨床医学系 放射線医学 |
| 岡本 嘉一 | 筑波大学臨床医学系 放射線医学 |
| 椎貝 真成 | 筑波大学臨床医学系 放射線医学 |
| 斎田 司  | 筑波大学臨床医学系 放射線医学 |
| 阿部 考志 | 筑波大学臨床医学系 放射線医学 |



# ACAR'2009

## The 2nd Asian Congress of Abdominal Radiology

*Korea*

**June 5-6, 2009**

**Lotte Hotel Seoul (Sogong-dong), Seoul, Korea**

**[www.ACAR2009.org](http://www.ACAR2009.org)**

Asian Society of Abdominal Radiology (ASAR)

The Organizing Committee of the 2nd Asian Congress of Abdominal Radiology (ACAR'2009)

## **ACAR'2009** The 2nd Asian Congress of Abdominal Radiology

**[www.ACAR2009.org](http://www.ACAR2009.org)**

### **ACAR'2009**

The Organizing Committee will provide a dynamic scientific program to advance the study of Abdominal Radiology and its associated diseases by encouraging teaching, research and further education in the subspecialty. **ACAR'2009** will be the place to interchange and integrate of all Asian Radiologists with an interest in this field. In addition to the scientific programs, we will propose social programs and tours, especially the "Discovery Seoul Night," which will charms behind this hosting city and leave with you an unforgettable memory.

### **Congress Program Highlights**

#### **Scientific Program**

2 Full-day Scientific Programs

- 1 Congress Lecture
- 8 Scientific Sessions
- 1 Plenary Lecture
- 4 Refresher Courses
- 1 Image Interpretation
- 2 Luncheon Symposia
- 6 Special Focus
- Scientific Exhibition

#### **Opening & Closing Ceremonies**

#### **Congress Reception, Discovery Seoul Night**

#### **Technical Exhibition**

#### **ACAR'2009 Secretariat**

InSession International Convention Services, Inc.

4F Yoongjeon Bldg., 829-6 Yeoksam-dong, Gangnam-gu, Seoul 135-936, Korea

Phone +82-2-3471-8555 Fax +82-2-521-8683 E-mail [info@acar2009.org](mailto:info@acar2009.org)

株式会社 AZE

大塚製薬 株式会社

コニカミノルタヘルスケア 株式会社

株式会社 コンベンションリンケージ

株式会社 島津製作所

株式会社 フィリップスエレクトロニクスジャパン  
メディカルシステムズ

株式会社 メディコスヒラタ

シーメンス旭メディテック株式会社

GE 横河メディカルシステム株式会社

東芝メディカルシステムズ株式会社

株式会社 根本杏林堂

バイエル薬品株式会社

ピーエスピー株式会社

富士フイルムメディカル株式会社



## サッカー大会 の お知らせ

日 時 **6月6日(金) 18:30~20:30 (雨天中止)**

場 所 **FUTSAL POINT つくば**

〒300-0844 茨城県土浦市乙戸 1135

TEL : 029-830-5002

※会場からの送迎バスをご用意致します。

※初心者・女性を大歓迎です。

参 加 費 **¥3,000 (懇親会費込み)**

申し込み先 **岡本 嘉一 (筑波大学 臨床医学系 放射線医学)**

**E-mail : yokamoto@md.tsukuba.ac.jp**

(参加していただける方には懇親会の予約人数の関係で、出来ましたら5月16日までにご連絡いただけると幸いです)

# 腹部放射線研究会

The Japanese Society of Abdominal Radiology (JSAR)

代表幹事 松井 修 (金沢大学)

副代表幹事 森 宣 (大分大学)

顧 問 石川 徹 (高津中央クリニック)  
打田日出夫 (大雄会 IVR センター)  
黒田 知純 (大阪がん予防検診センター)  
中尾 宣夫 (兵庫医科大学)  
平松 京一 (水町 MR クリニック)  
平松 慶博 (サン虎の門クリニック)  
宗近 宏次 (総合南東北病院)

幹 事 荒木 力 (山梨大学)  
大友 邦 (東京大学)  
角谷 眞澄 (信州大学)  
杉村 和朗 (神戸大学)  
富樫かおり (京都大学)  
中村 仁信 (大阪大学)  
山下 康行 (熊本大学)

監 事 今井 裕 (東海大学)  
後閑 武彦 (昭和大学)

(敬称略・五十音順)

事 務 局 山田 康成  
大分大学医学部 腫瘍病態制御講座 放射線医学  
〒879-5593 大分市由布市狭間町医生ヶ丘 1-1  
TEL 097-586-5934 (放射線科医局)  
FAX 097-586-0025  
E-mail : JSAR@med.oita-u.ac.jp

## 会場案内図

